

### 3. 防災指針の現状と課題

#### (1) 災害リスク分析について

災害リスク分析にあたっては、災害ハザード情報に都市の情報（人口、都市機能、避難所等）を重ね合わせて分析し、課題を抽出します。なお、資料編では、「STEP 1. 災害ハザード情報の分析」、「STEP 2. 災害ハザード情報と都市の重ね合わせによる分析」を併せて示します。

#### ■ 防災指針の検討フロー

##### STEP1. 災害ハザード情報の分析

各種災害ハザード情報ごとに分析

災害種別	災害ハザード情報
津波	津波災害警戒区域
洪水	金生川洪水浸水想定区域(想定最大規模)、関川洪水浸水想定区域(想定最大規模)、家屋倒壊等氾濫想定区域(想定最大規模)、洪水浸水継続時間
高潮	高潮浸水想定区域(想定最大規模)、高潮浸水継続時間
土砂災害	土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域、急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域
その他	ため池浸水想定区域、大規模盛土造成地

##### STEP2. 災害ハザード情報と都市の情報の重ね合わせによる分析

各種ハザード情報、都市機能、避難所等を重ね合わせて分析

###### 災害ハザード情報 × 都市の情報

- |       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| ○津波   | ○都市機能・要配慮者利用施設                    |
| ○洪水   | →分析の視点:都市機能・要配慮者利用施設に与える          |
| ○高潮   | 災害リスクの影響                          |
| ○土砂災害 | ○指定避難所・指定避難場所・指定福祉避難所             |
| ○その他  | →分析の視点:災害リスクに対する避難の可能性、<br>避難上の支障 |

##### STEP3. 課題の見える化

防災上の課題を見える化するとともに、都市の情報である人口を重ね合わせて分析

##### STEP4. 将来像・取組方針の設定

上位・関連計画との整合性を図った将来像・取組方針を検討

##### STEP5. 具体的な取組・スケジュール・目標値の設定

将来像・取組方針を踏まえ、具体的な取組・スケジュール・目標値等を検討

## (2) 災害ハザード情報と都市の重ね合わせによる分析

災害リスク分析にあたっては、災害種別のハザード情報（津波・洪水・高潮・土砂災害・その他）と都市の情報（都市機能・要配慮者利用施設、避難所・避難場所）を重ね合わせて、居住誘導区域を対象とし、都市機能誘導区域ごとに分析を行います。

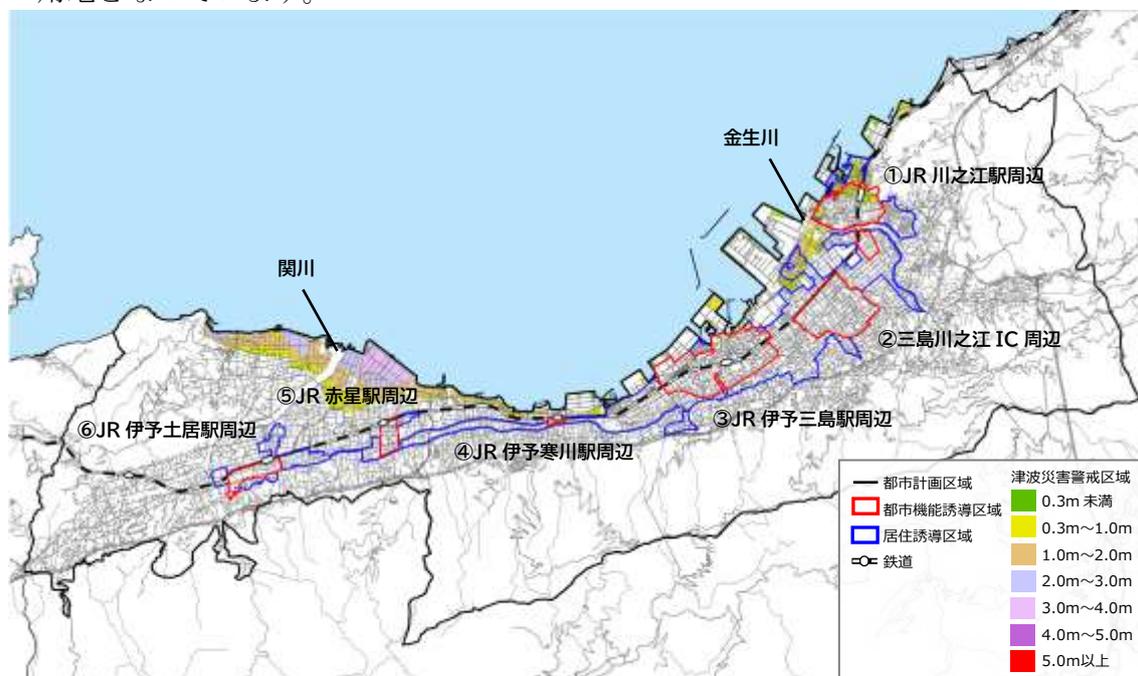
### 津波災害警戒区域

#### ■ 居住誘導区域内

- 新浜・浜田地区は基準水位 2.0～3.0mの区域が指定され、JR 川之江駅周辺部、金生川河口付近、三島中央地区、江之元地区は基準水位 2.0m未満の区域が指定されています。
- 本市においては、南海トラフ巨大地震による最大震度は7、津波避難到達時間（津波高+1m）は231分が予測されており、津波における避難については、十分な時間が確保されています。（※愛媛県地震被害想定調査結果を参照）

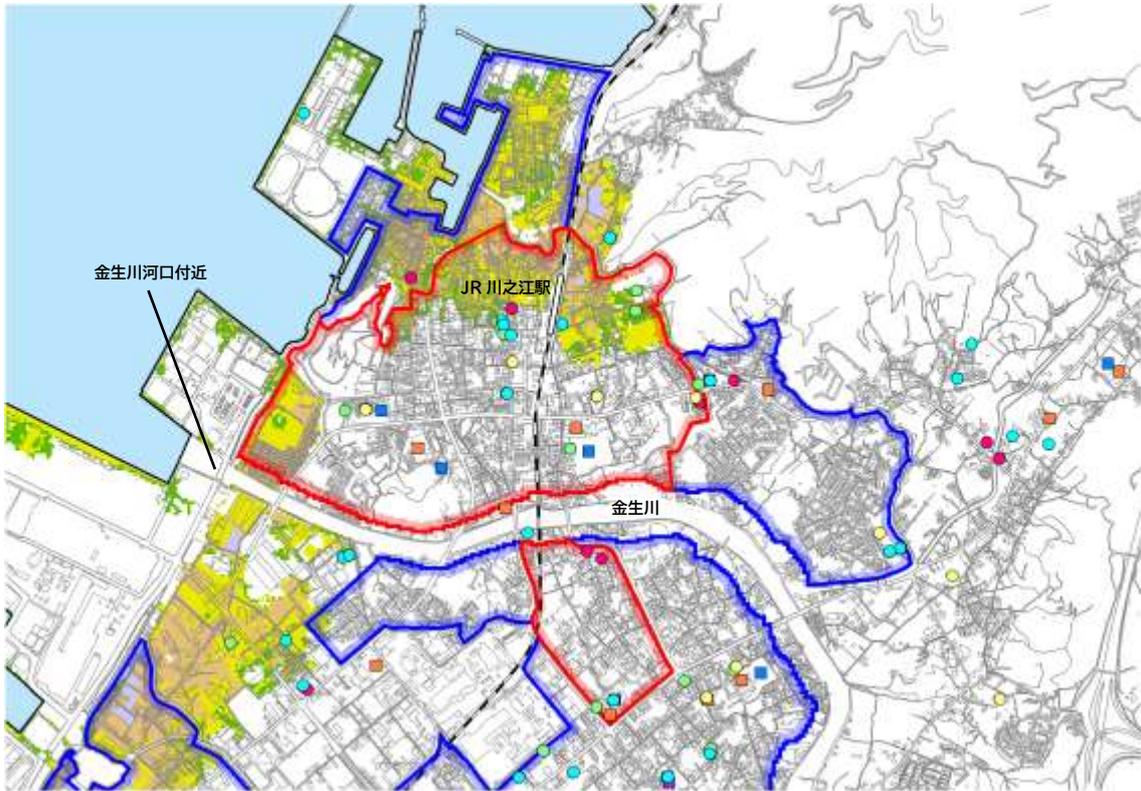
#### ■ 居住誘導区域外

- 海岸部において、津波災害警戒区域が指定されていますが、工業地帯や農用地が大部分を占めています。
- 関川周辺部の一帯は、基準水位 2.0～4.0mの区域が広がっていますが、大部分が農用地となっています。

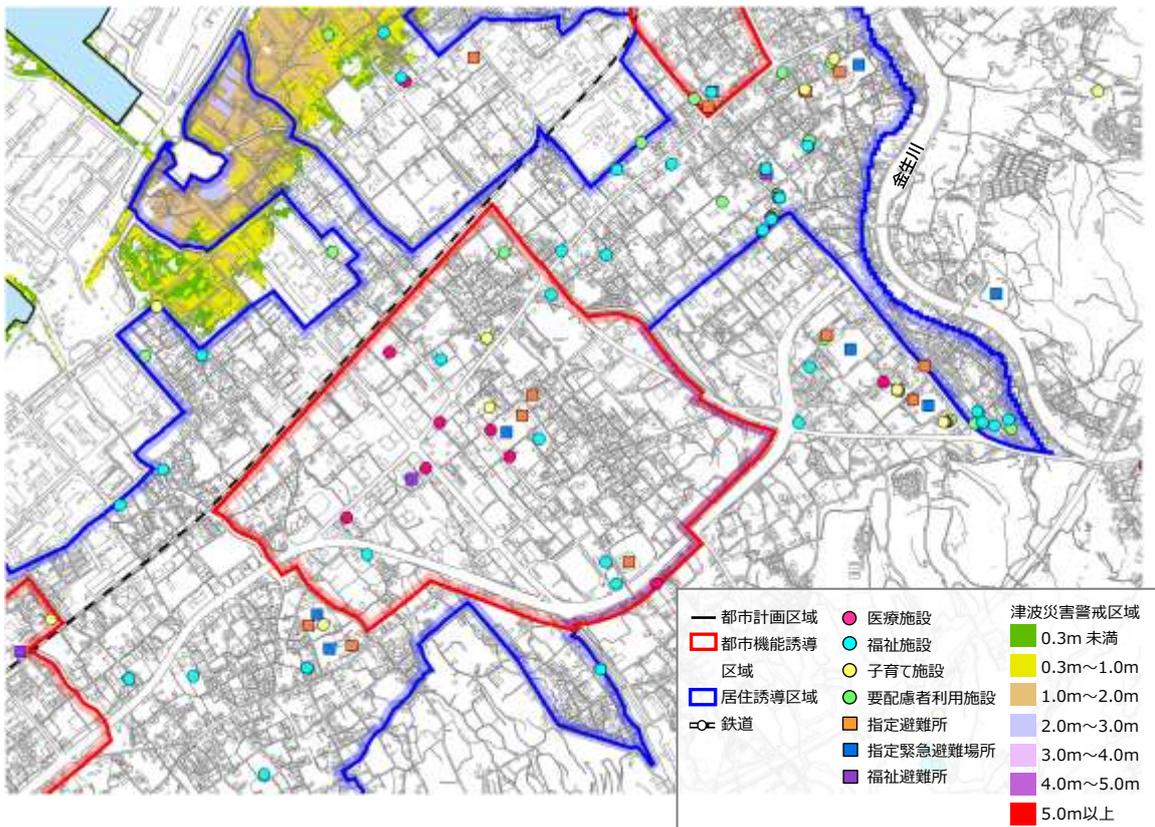


- 津波災害警戒区域（イエローゾーン）とは、最大クラスの津波が発生した場合に、住民等の生命・身体に危害が生ずるおそれがある区域で、津波災害を防止するために「警戒避難体制を特に整備すべき区域」として県知事が指定する区域です。
- 「津波災害警戒区域（イエローゾーン）」を指定することにより、津波災害が懸念される市町における、避難訓練の実施、避難施設の確保等の警戒避難体制の整備などを推進し、津波に対する警戒避難体制の整備をより確実なものとするのが目的です。また、区域指定と併せて公表する「基準水位」により、津波から避難する際の高さが想定でき、避難施設などの効率的な整備の目安となるなど、より効率的な津波避難対策が可能となります。

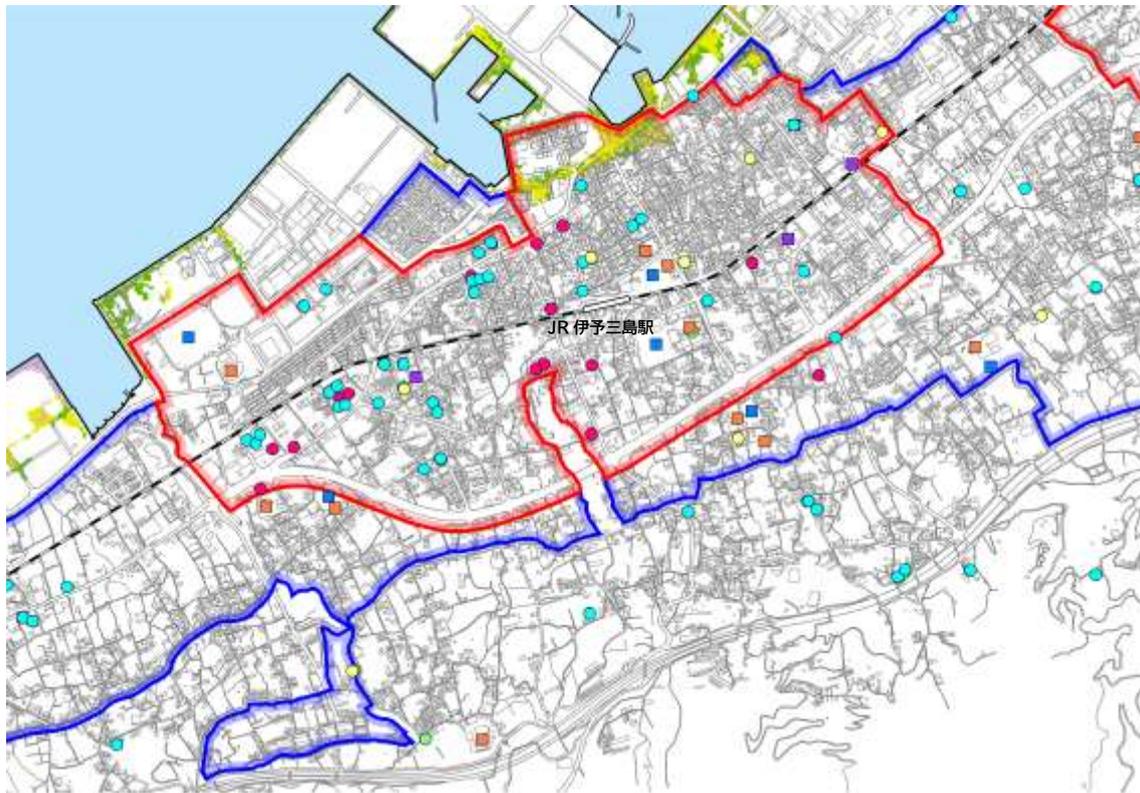
① JR 川之江駅周辺



② 三島川之江 IC 周辺



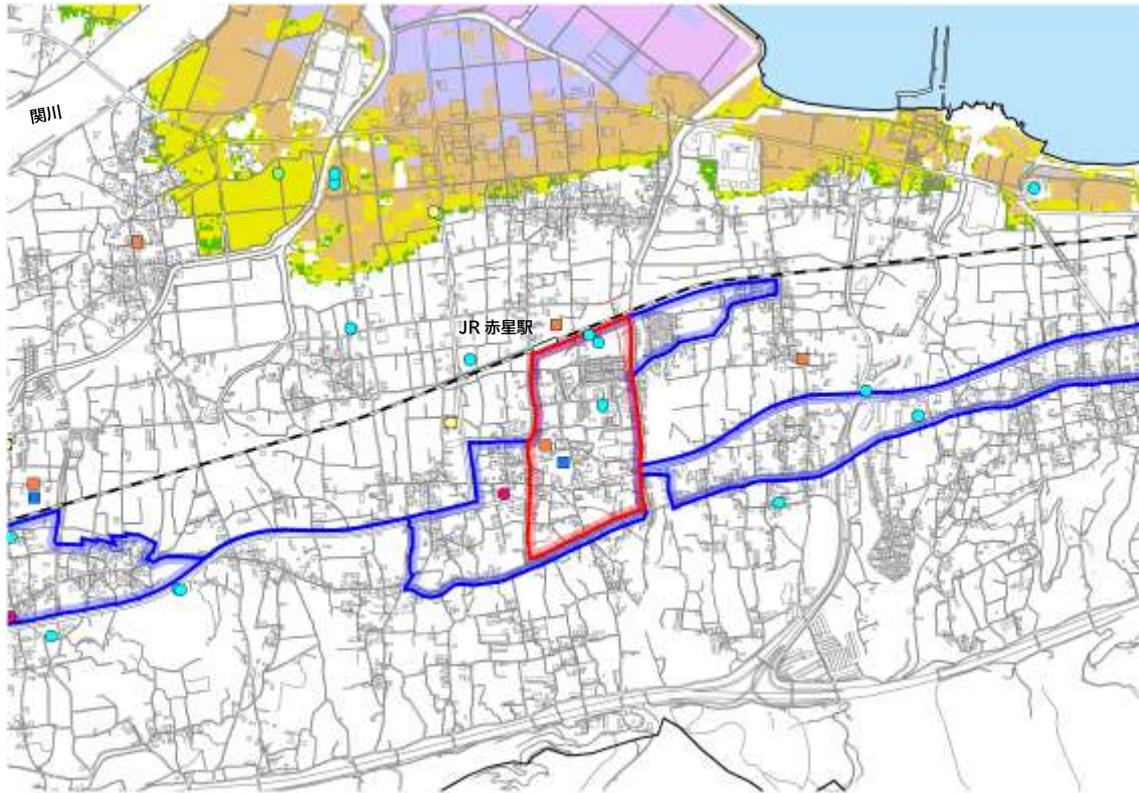
③ JR 伊予三島駅周辺



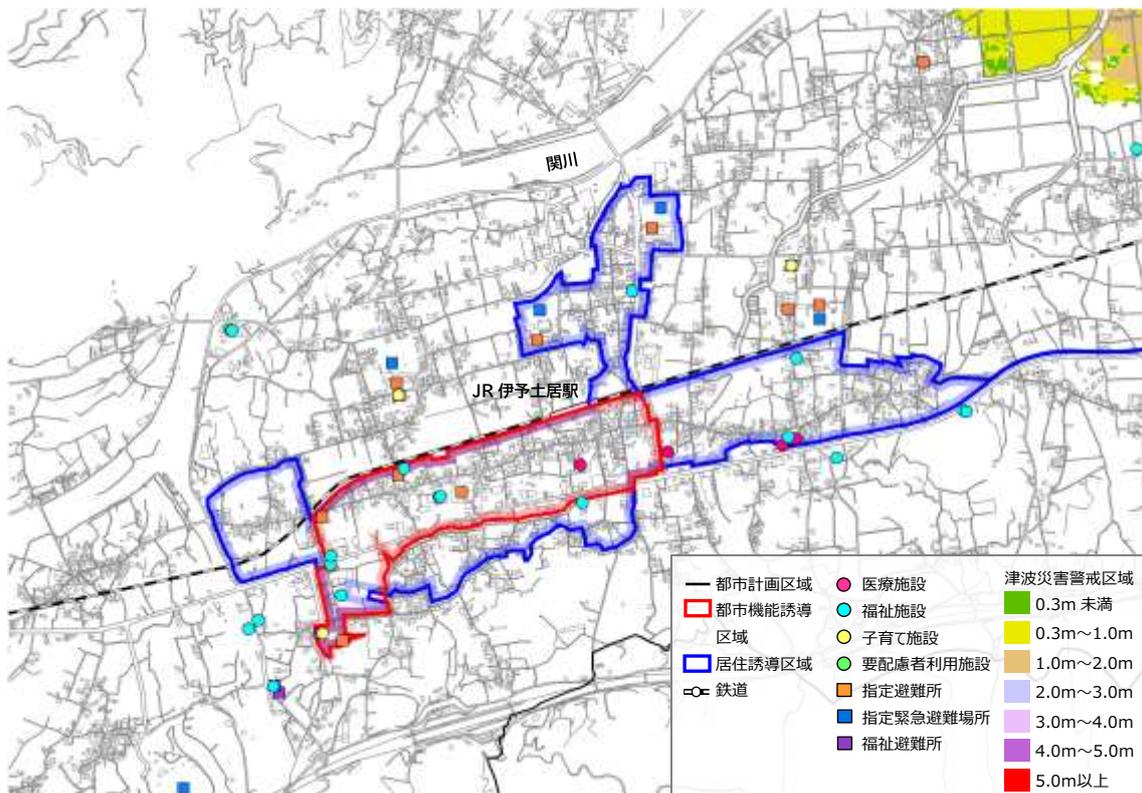
④ JR 伊予寒川駅周辺



⑤ JR 赤星駅周辺



⑥ JR 伊予土居駅周辺



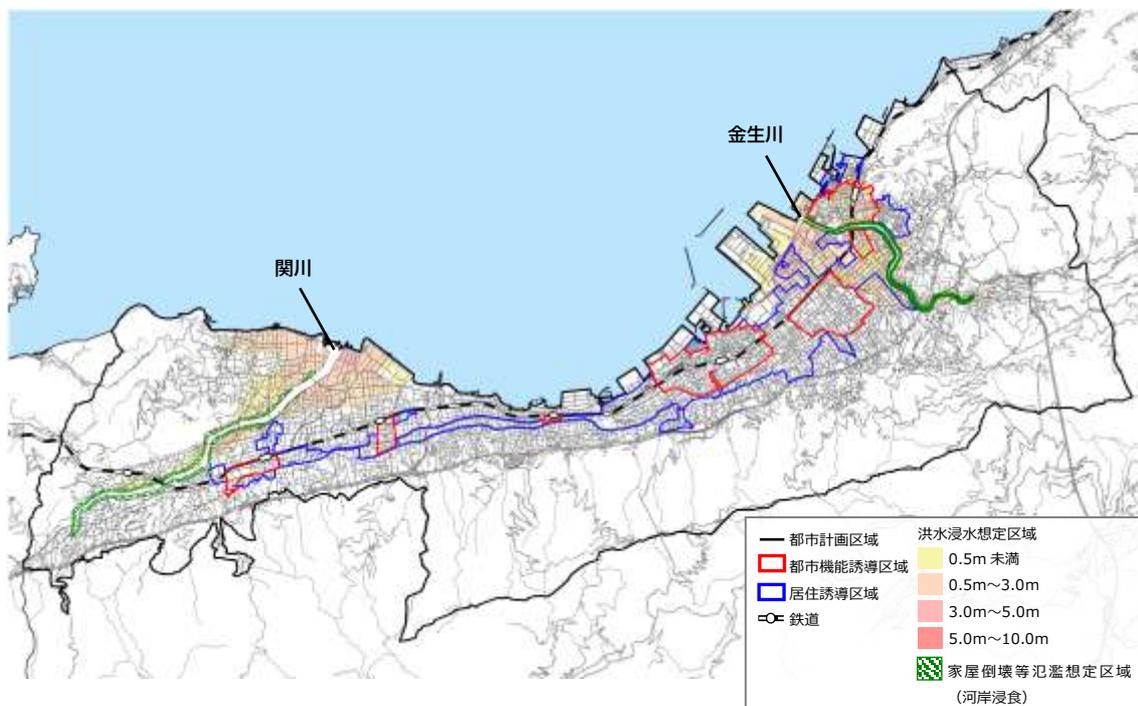
## 洪水浸水想定区域×家屋倒壊等氾濫想定区域

### ■ 居住誘導区域内

- 金生川沿いでは、川之江町や金生町下分の大部分で浸水深 0.5～3.0mの区域が広がっており、中でも JR 川之江駅周辺部、栄橋・金生橋南側、新浜・浜田地区においては、浸水深 3.0～5.0mの区域が広がっています。
- 金生川沿いでは、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）が指定されています。

### ■ 居住誘導区域外

- 関川周辺部の一帯で、浸水深 0.5～3.0mの区域が広がり、一部で浸水深 3.0～5.0mの区域が広がっています。
- 関川沿いでは、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）が指定されています。



- 「金生川浸水想定区域」は、金生川が概ね 1,000 年に 1 回の雨量（1 日雨量 727.9 ミリ）と、概ね 50 年に 1 回の雨量（1 日雨量 238 ミリ）により、それぞれの状況で氾濫した場合を愛媛県が想定したものです。
- 「関川浸水想定区域」は、関川が概ね 1,000 年に 1 回の雨量（1 日雨量 724.4 ミリ）と、概ね昭和 20 年 10 月洪水に想定する雨量（1 日雨量 331 ミリ）により、それぞれの状況で氾濫した場合を愛媛県が想定したものです。

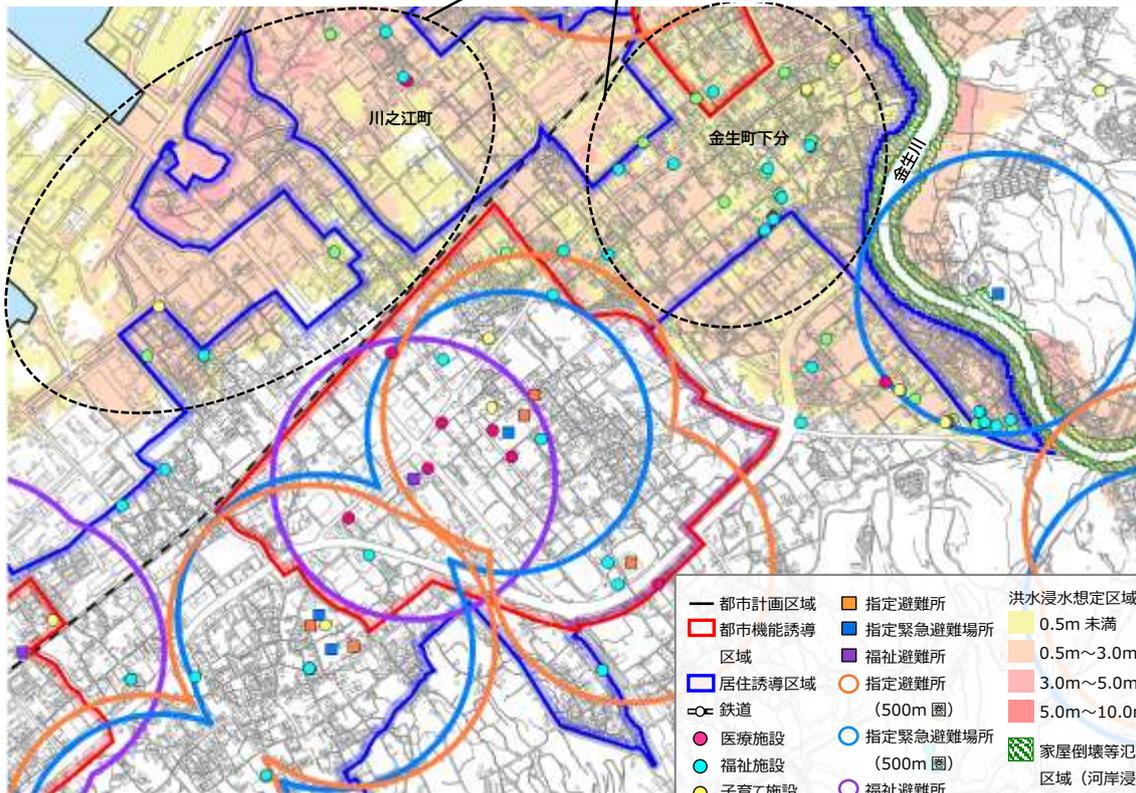
① JR 川之江駅周辺

○JR 川之江駅北側は避難所・避難場所から離れている地域  
 ○JR 川之江駅東側では都市機能や要配慮者利用施設への被害が大きいと想定  
 →居住誘導区域内外問わず対策が必要



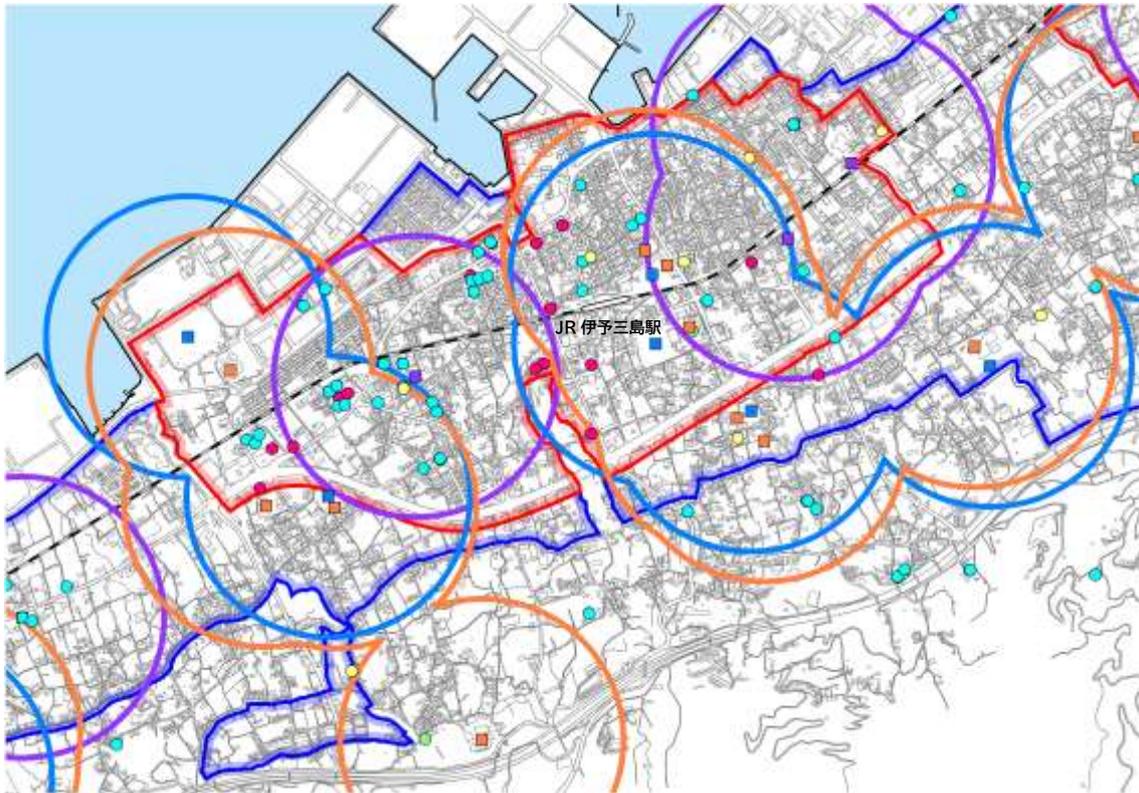
② 三島川之江 IC 周辺

○川之江町や金生町下分は避難所・避難場所から離れている地域  
 ○都市機能や要配慮者利用施設への被害が大きいと想定  
 →居住誘導区域内外問わず対策が必要

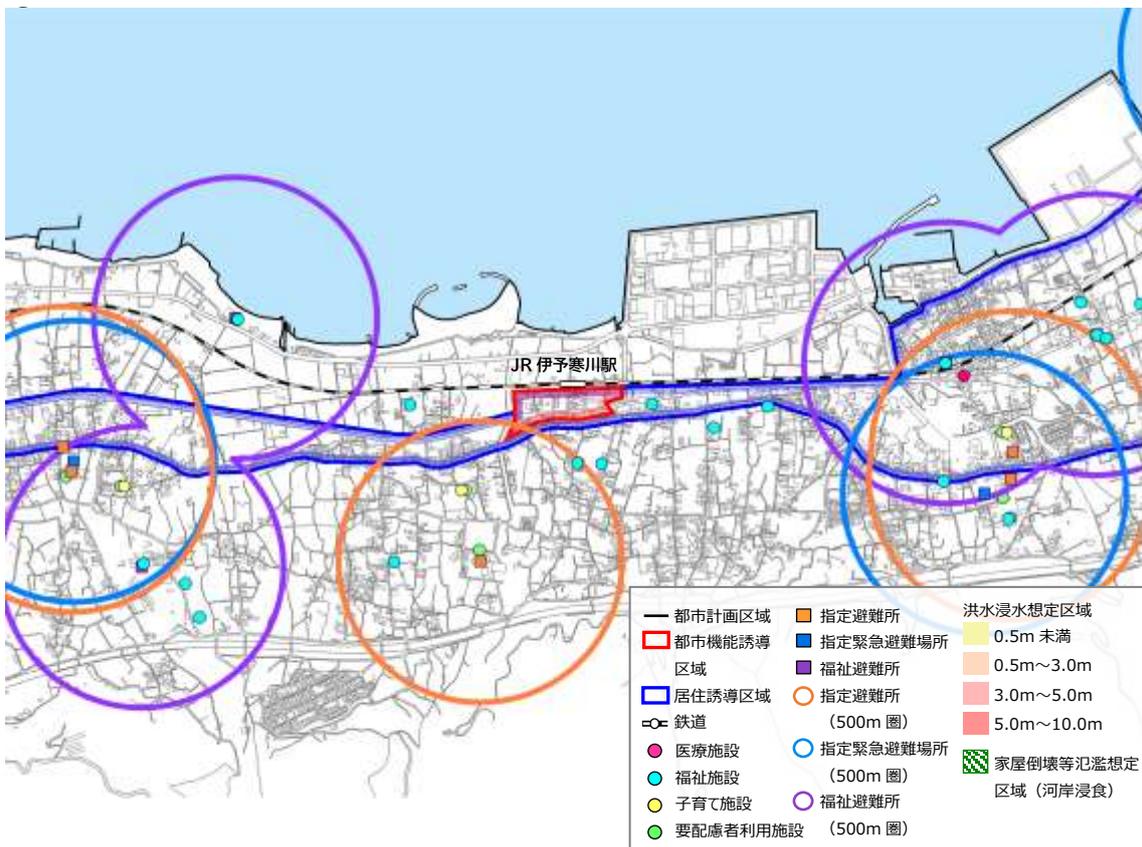


— 都市計画区域	指定避難所	洪水浸水想定区域
■ 都市機能誘導区域	指定緊急避難場所	0.5m 未満
■ 居住誘導区域	福祉避難所	0.5m~3.0m
○ 鉄道	指定避難所 (500m 圏)	3.0m~5.0m
● 医療施設	指定緊急避難場所 (500m 圏)	5.0m~10.0m
● 福祉施設	福祉避難所 (500m 圏)	家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸浸食)
● 子育て施設	福祉避難所 (500m 圏)	
● 要配慮者利用施設		

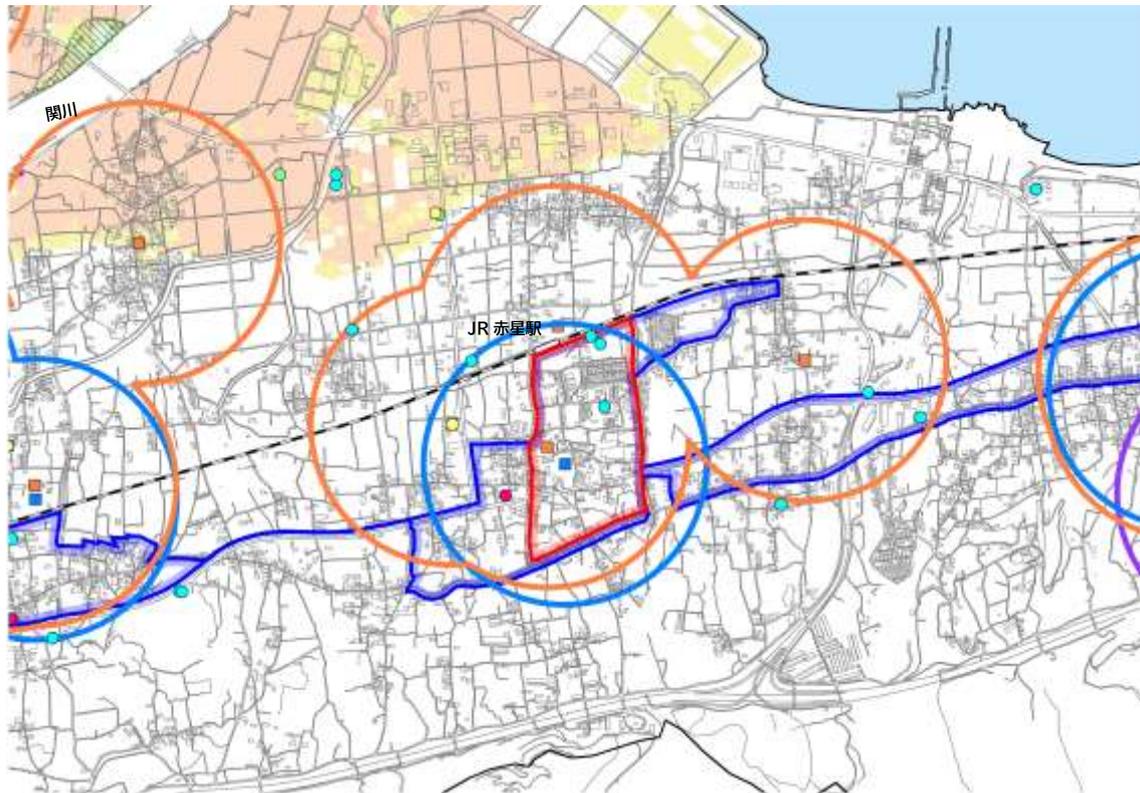
③ JR 伊予三島駅周辺



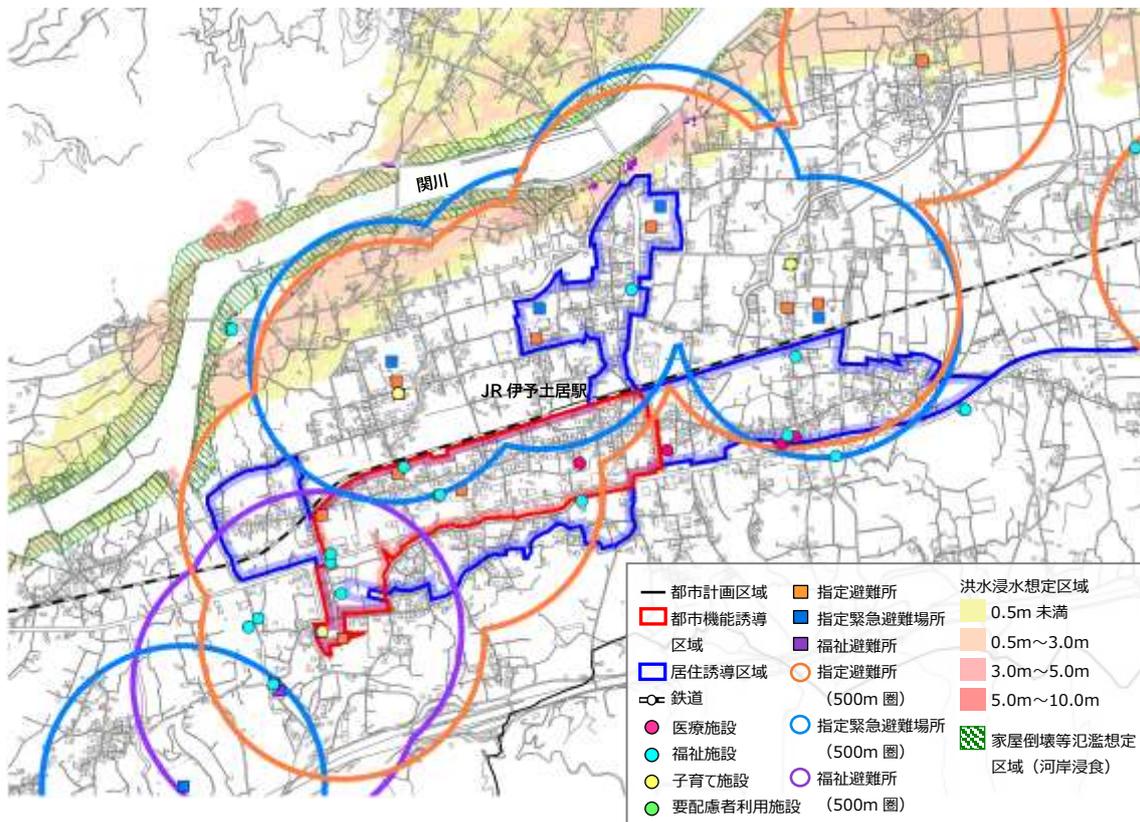
④ JR 伊予寒川駅周辺



⑤ JR 赤星駅周辺



⑥ JR 伊予土居駅周辺



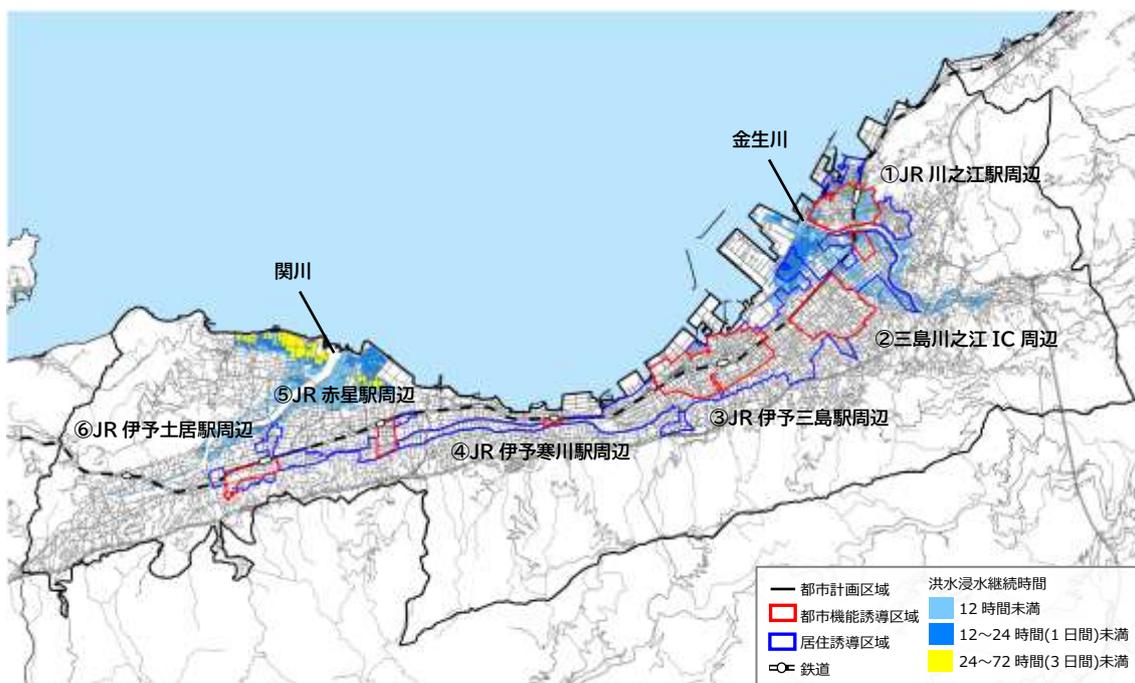
## 洪水浸水継続時間

### ■ 居住誘導区域内

- JR 川之江駅周辺は尻無川の洪水による影響、金生川河口付近は金生川の洪水による影響に伴い、24～72時間（3日間）未満の区域が広がっており、ライフラインの途絶や都市機能の停止等が想定されます。
- 栄橋・金生橋南側や新浜・浜田地区は金生川の洪水による影響に伴い、12～24時間（1日間）未満の区域が広がっています。

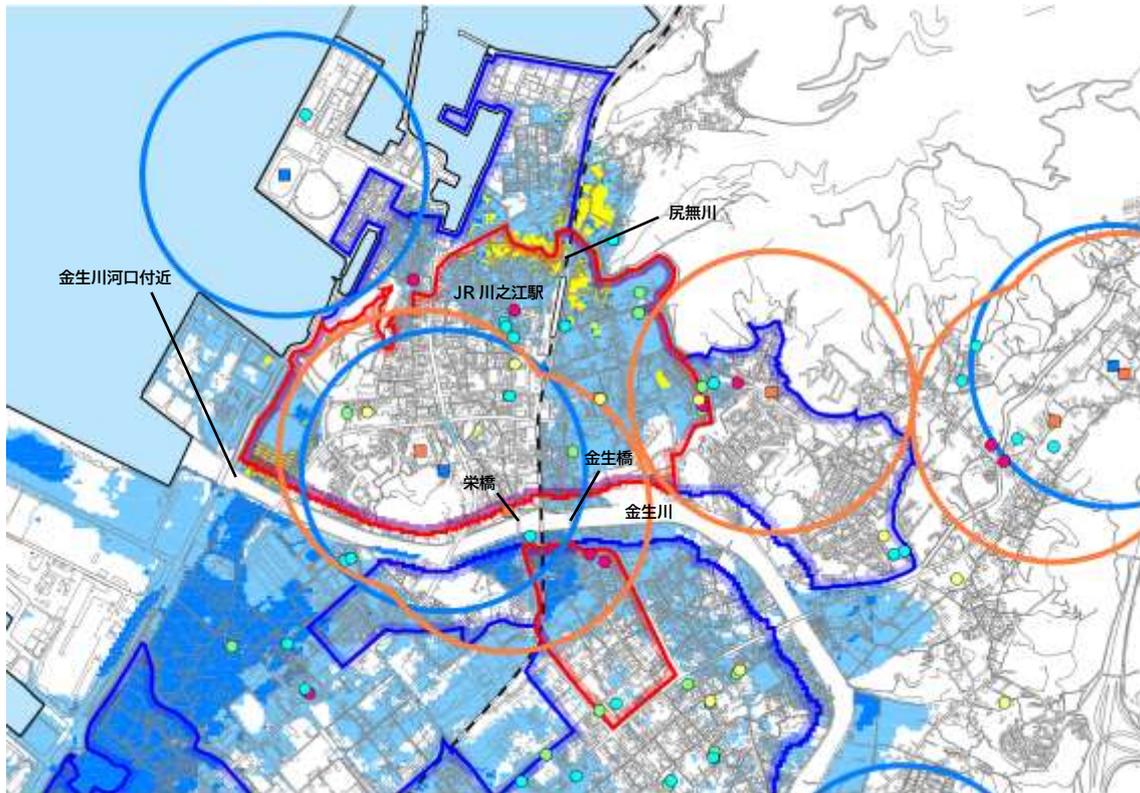
### ■ 居住誘導区域外

- 関川の洪水による影響に伴い、12～72時間未満の区域が広がっていますが、主に農用地が大部分を占めています。

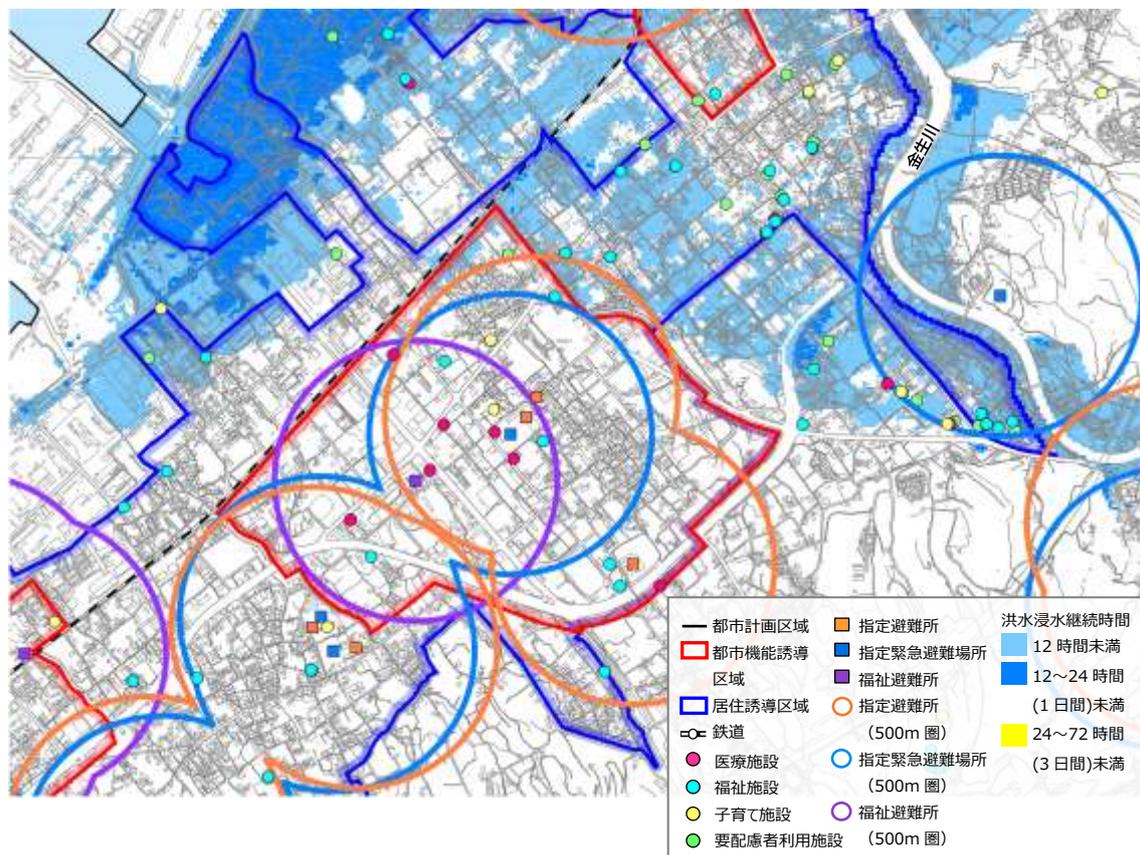


- 浸水継続時間とは、屋内での待避等の安全確保措置の指示等の判断に資する情報として、任意の地点において、氾濫水到達後、屋外への避難が困難となり孤立する可能性のある浸水深 0.5m に達してからその水深を下回るまでにかかる時間を示すものです。「浸水継続時間」が長い地域では、ライフラインの途絶等により避難生活が困難となるおそれがあることから、立ち退き避難（水平避難）の可否の判断に有用な情報となります。（国土交通省資料を参考）

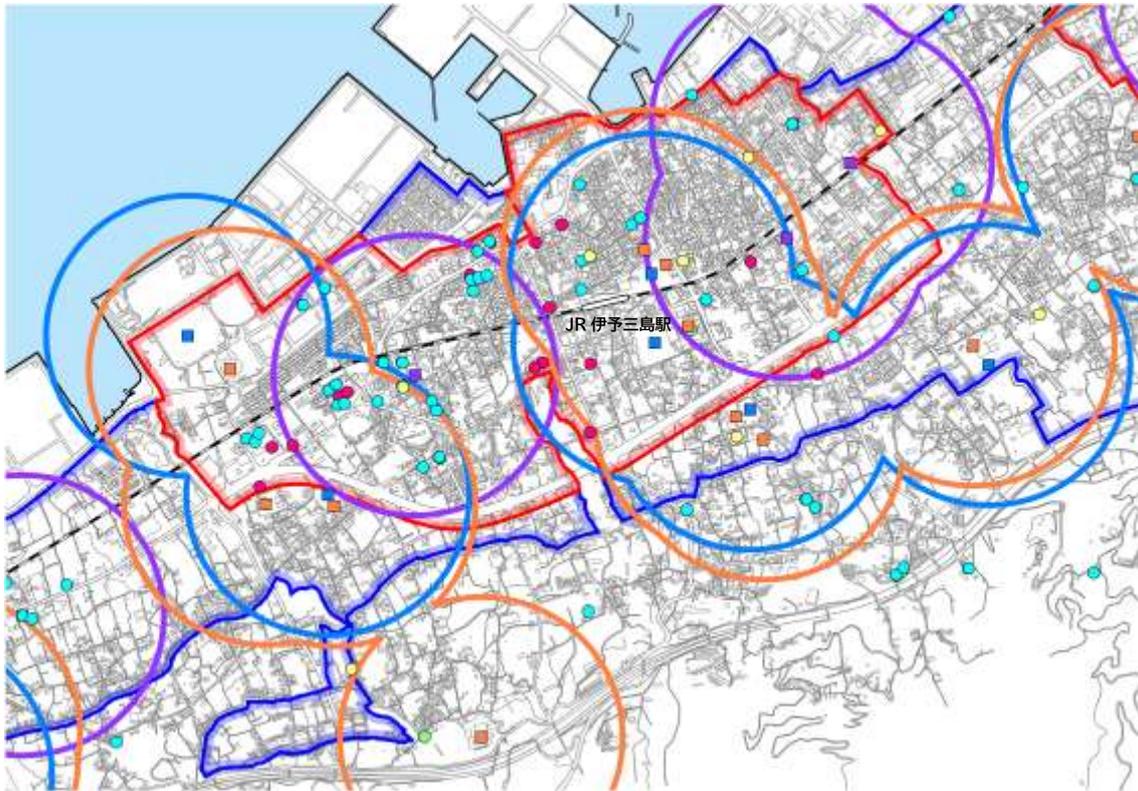
① JR 川之江駅周辺



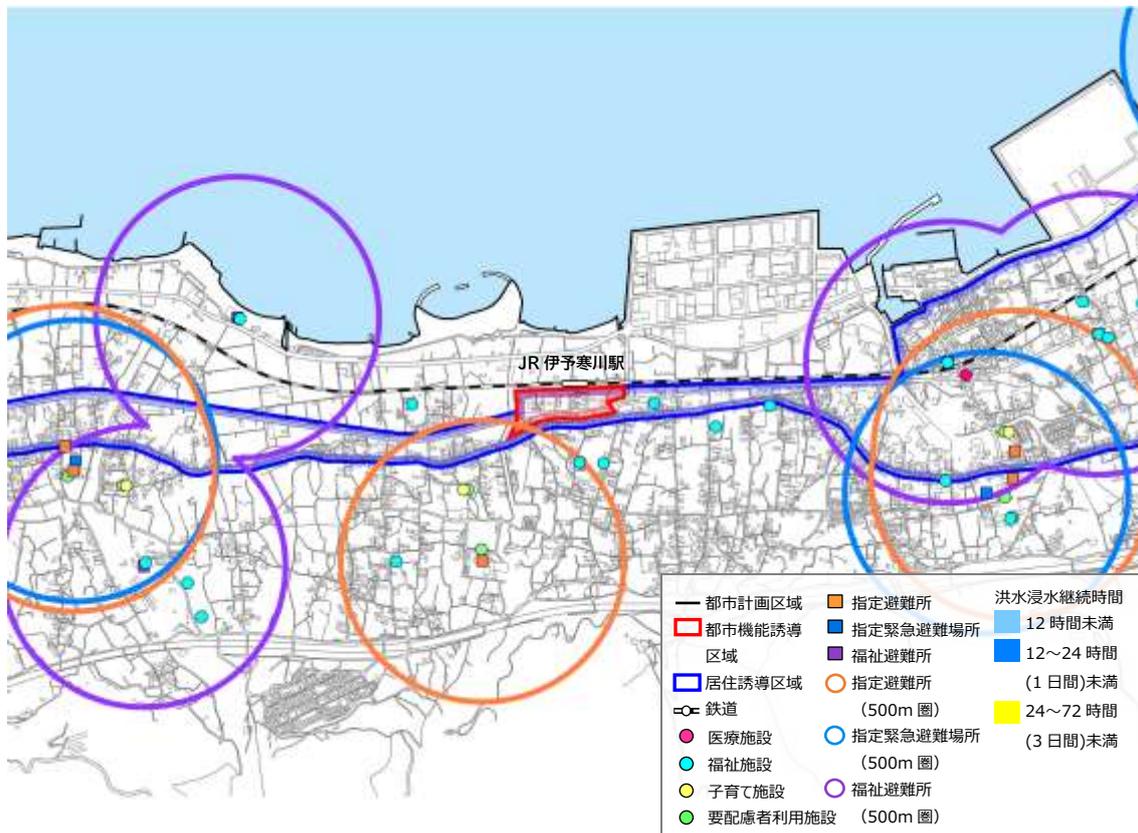
② 三島川之江 IC 周辺



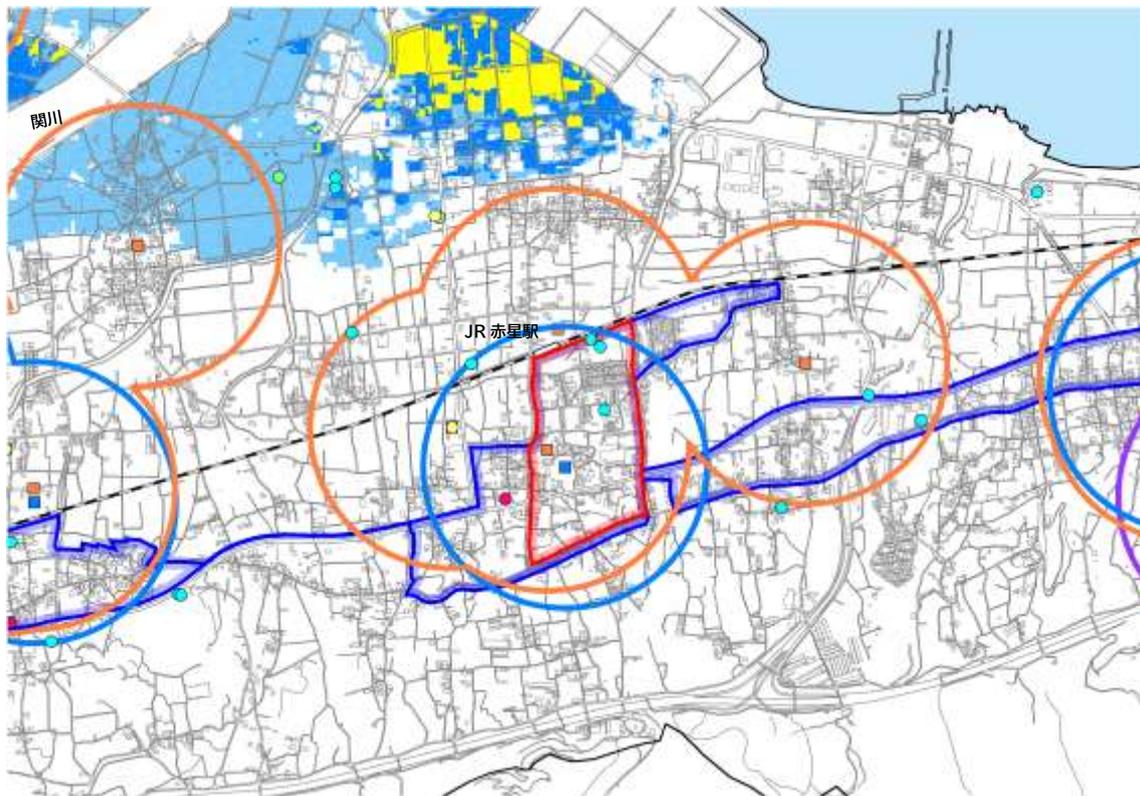
③ JR 伊予三島駅周辺



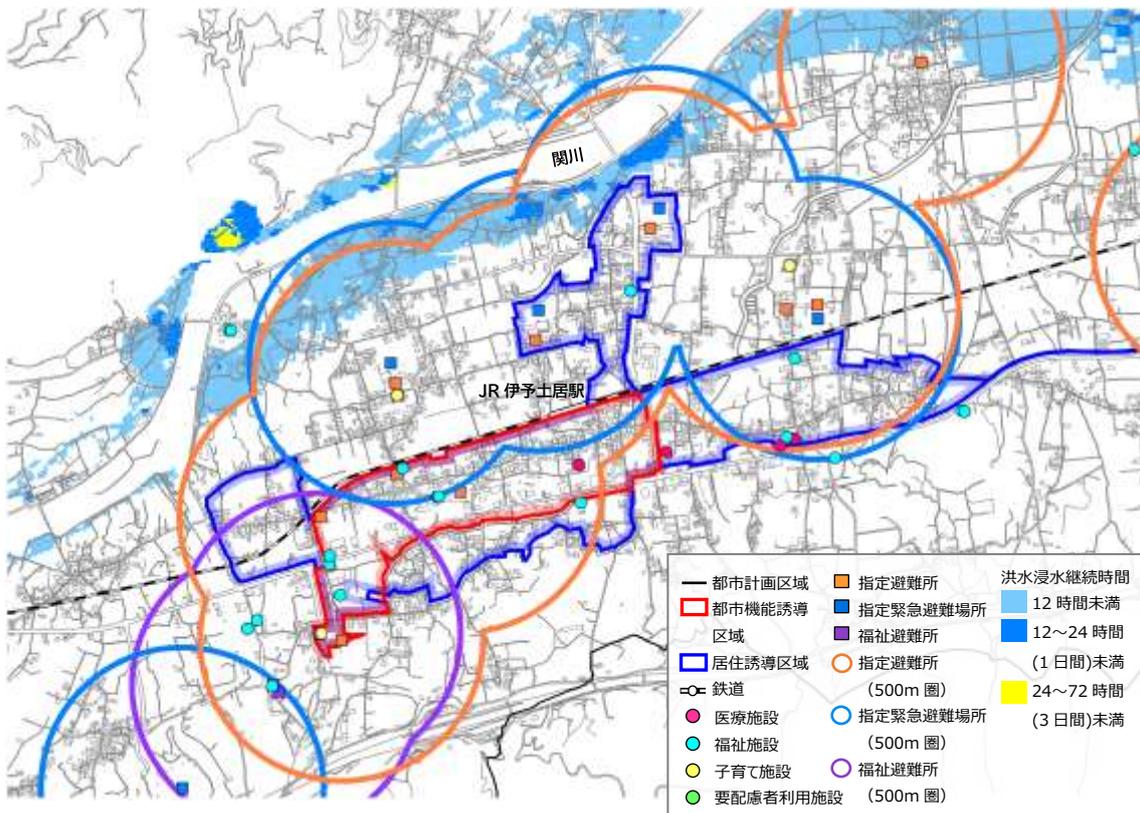
④ JR 伊予寒川駅周辺



⑤ JR 赤星駅周辺



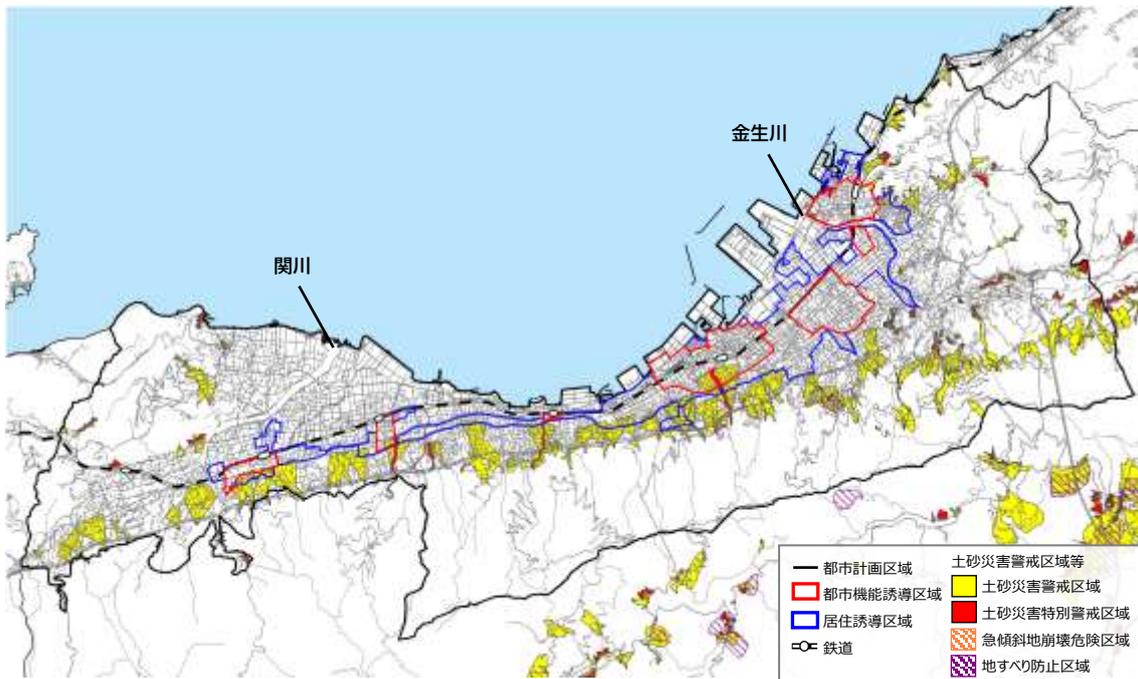
⑥ JR 伊予土居駅周辺



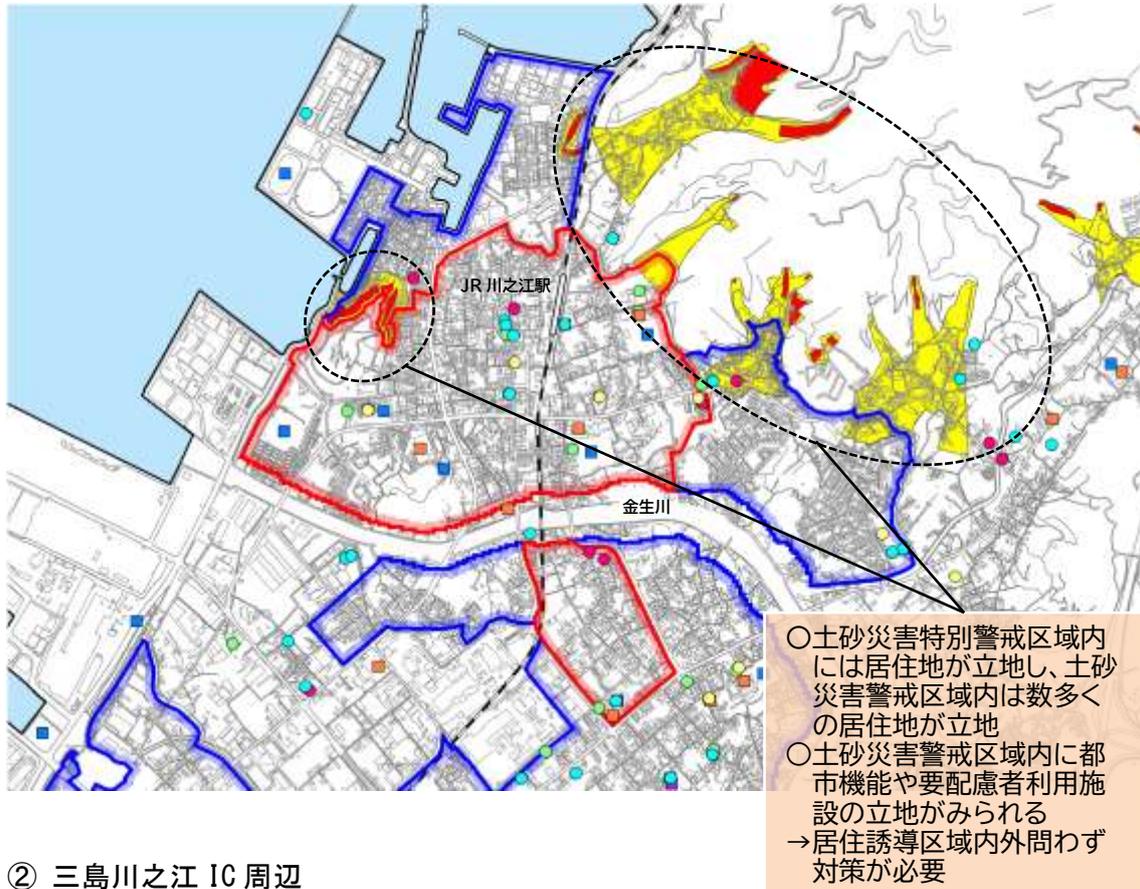
## 土砂災害

### ■ 居住誘導区域内外

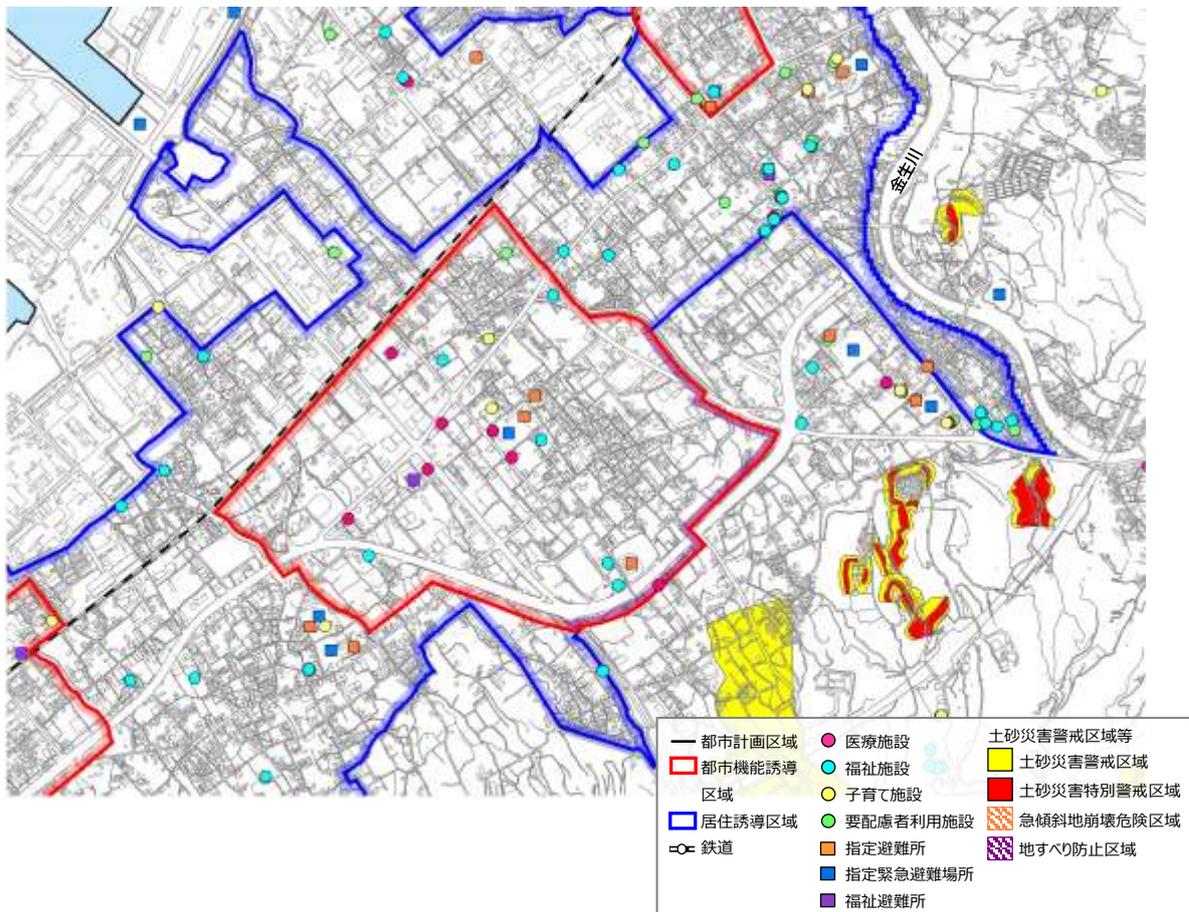
- 土砂災害(特別)警戒区域は、山裾沿いかつ居住誘導区域内に多く指定されています。
- 居住誘導区域に係る土砂災害特別警戒区域は、令和3年4月における本計画の見直しにより除外しています。



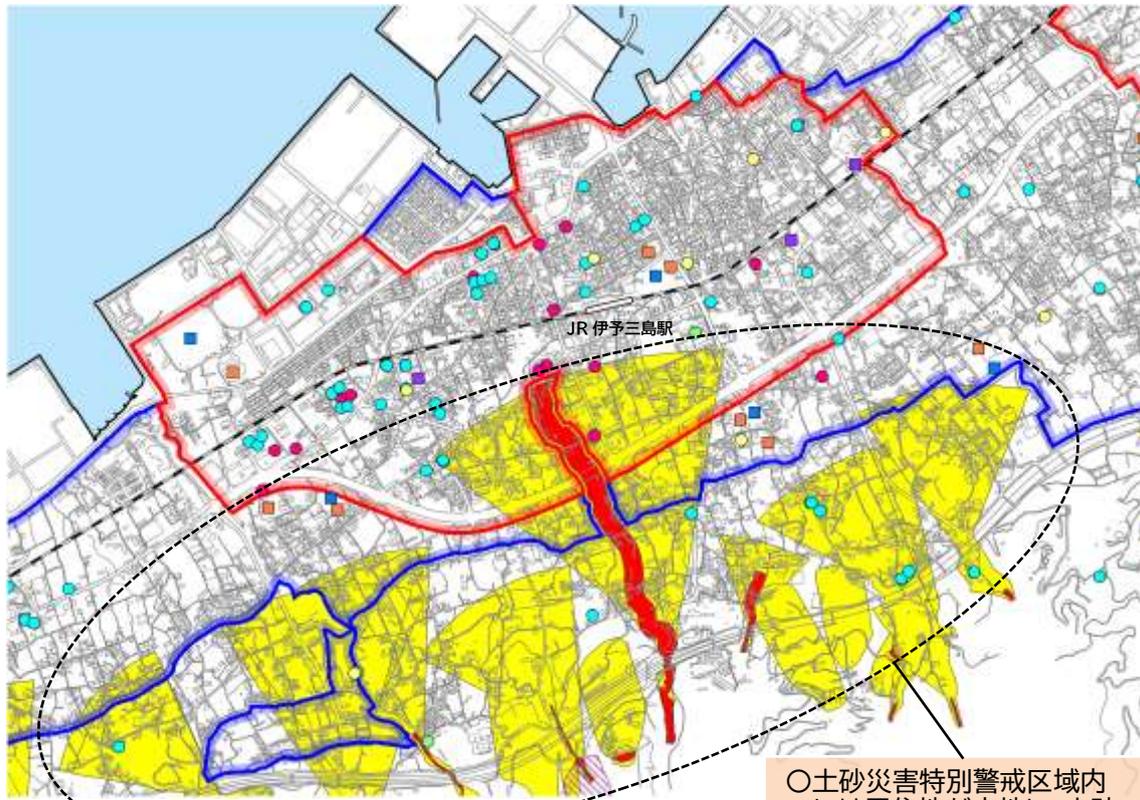
① JR 川之江駅周辺



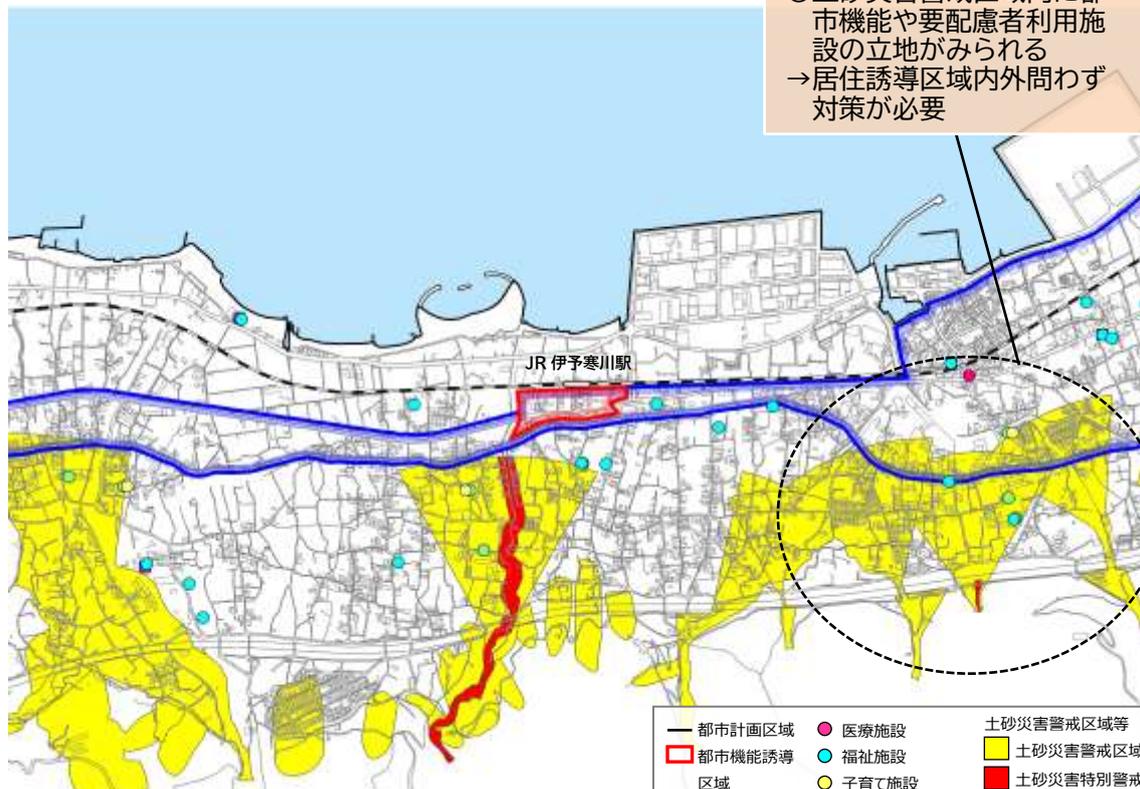
② 三島川之江 IC 周辺



③ JR 伊予三島駅周辺



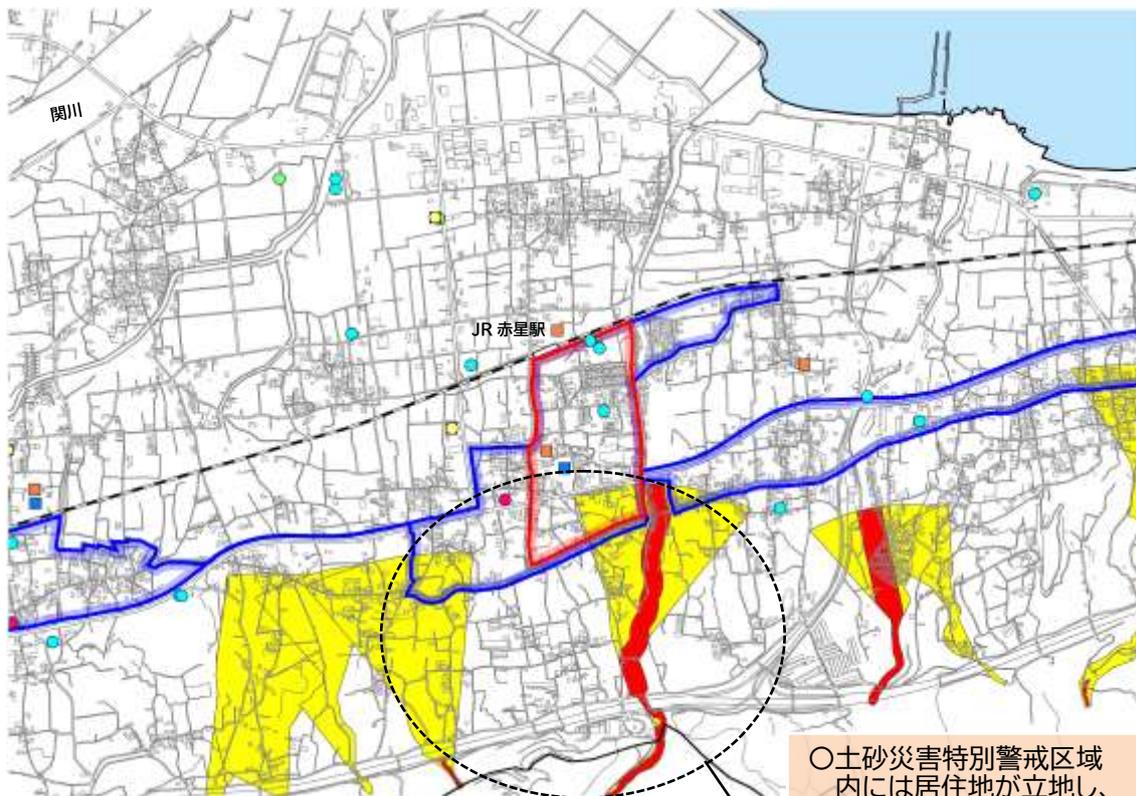
④ JR 伊予寒川駅周辺



○土砂災害特別警戒区域内には居住地が立地し、土砂災害警戒区域内は数多くの居住地が立地  
 ○土砂災害警戒区域内に都市機能や要配慮者利用施設の立地がみられる  
 →居住誘導区域内外問わず対策が必要

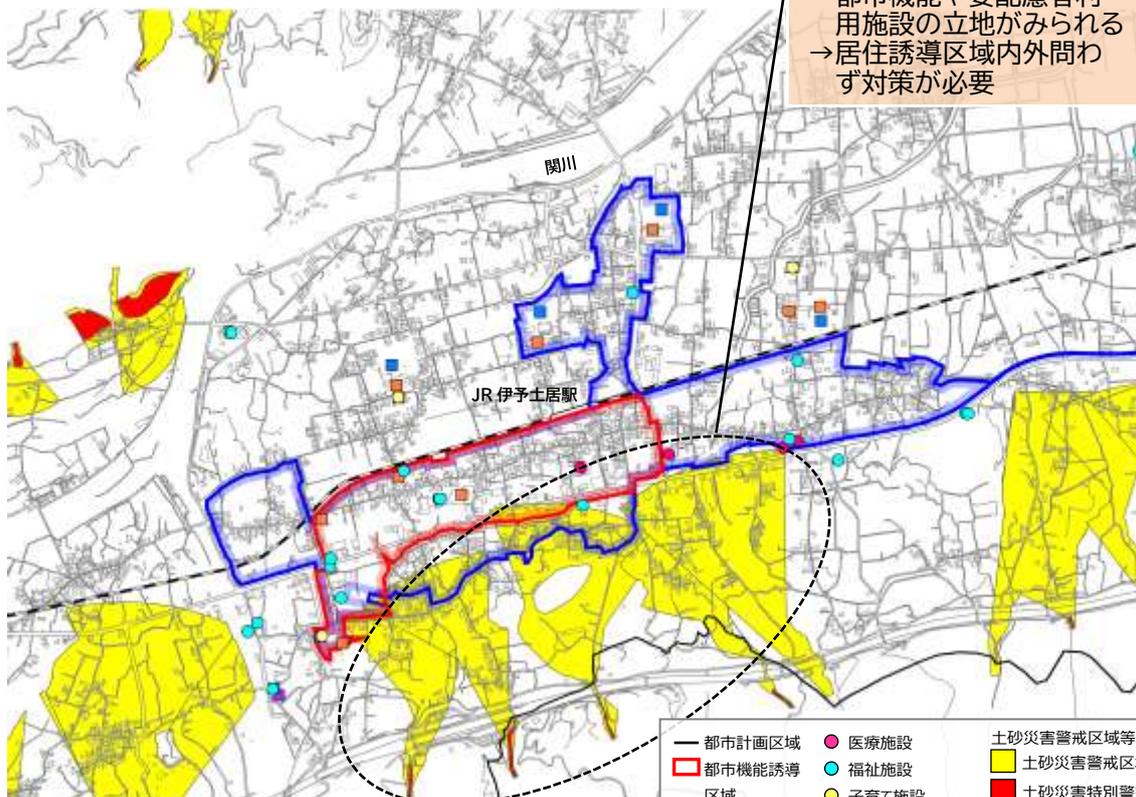
— 都市計画区域	● 医療施設	土砂災害警戒区域等
■ 都市機能誘導区域	● 福祉施設	■ 土砂災害警戒区域
■ 居住誘導区域	● 子育て施設	■ 土砂災害特別警戒区域
○ 鉄道	● 要配慮者利用施設	■ 急傾斜地崩壊危険区域
	■ 指定避難所	■ 地すべり防止区域
	■ 指定緊急避難場所	
	■ 福祉避難所	

⑤ JR 赤星駅周辺



○土砂災害特別警戒区域内には居住지가立地し、土砂災害警戒区域内は数多くの居住지가立地  
 ○土砂災害警戒区域内に都市機能や要配慮者利用施設の立地がみられる  
 →居住誘導区域内外問わず対策が必要

⑥ JR 伊予土居駅周辺



— 都市計画区域	● 医療施設	■ 土砂災害警戒区域等
■ 都市機能誘導区域	● 福祉施設	■ 土砂災害警戒区域
■ 居住誘導区域	● 子育て施設	■ 土砂災害特別警戒区域
○ 鉄道	● 要配慮者利用施設	■ 急傾斜地崩壊危険区域
	■ 指定避難所	■ 地すべり防止区域
	■ 指定緊急避難場所	
	■ 福祉避難所	

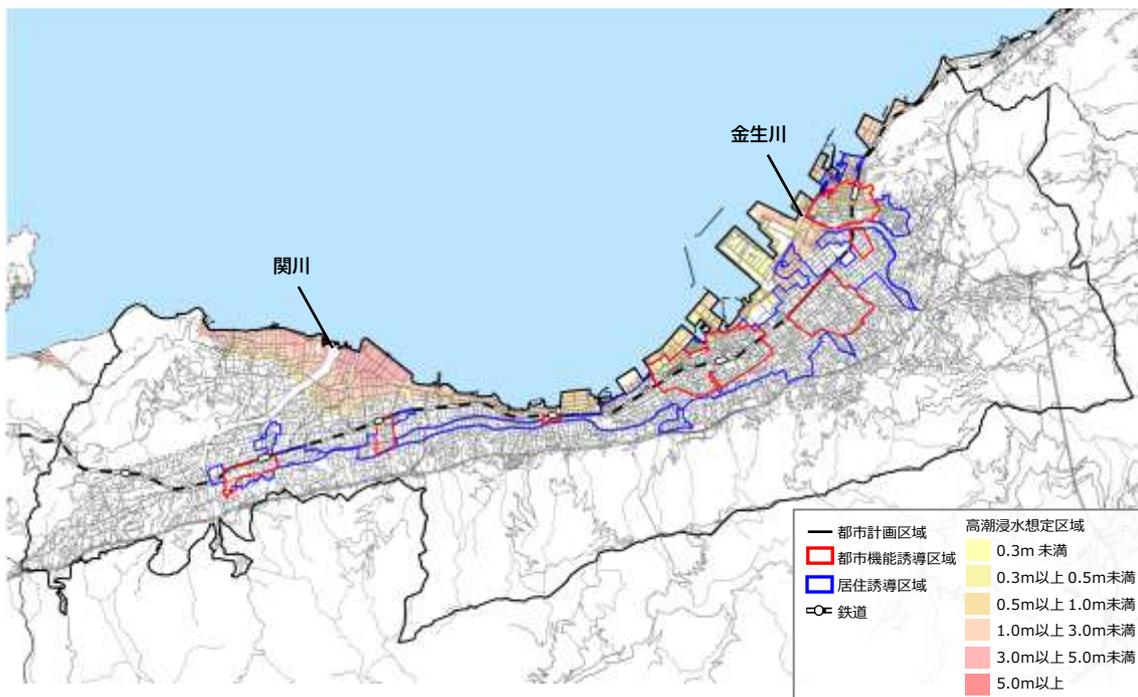
## 高潮浸水想定区域

### ■ 居住誘導区域内

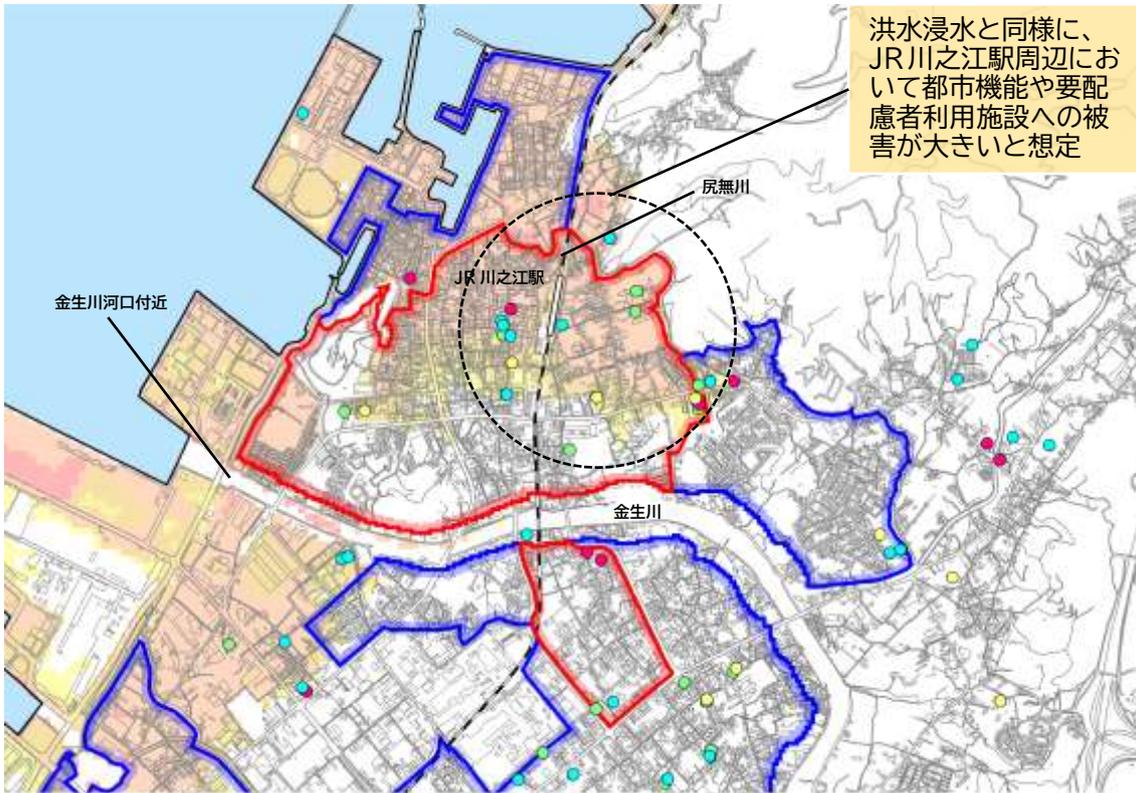
- JR 川之江駅周辺の大部分や金生川河口付近は、浸水深 1.0～3.0mの区域が広がっています。また、尻無川沿いでは浸水深 3.0～5.0mの区域もあります。
- 新浜・浜田地区や村松町、三島金子地区・三島中央地区、江之元地区は、浸水深 1.0～3.0mの区域が広がっています。

### ■ 居住誘導区域外

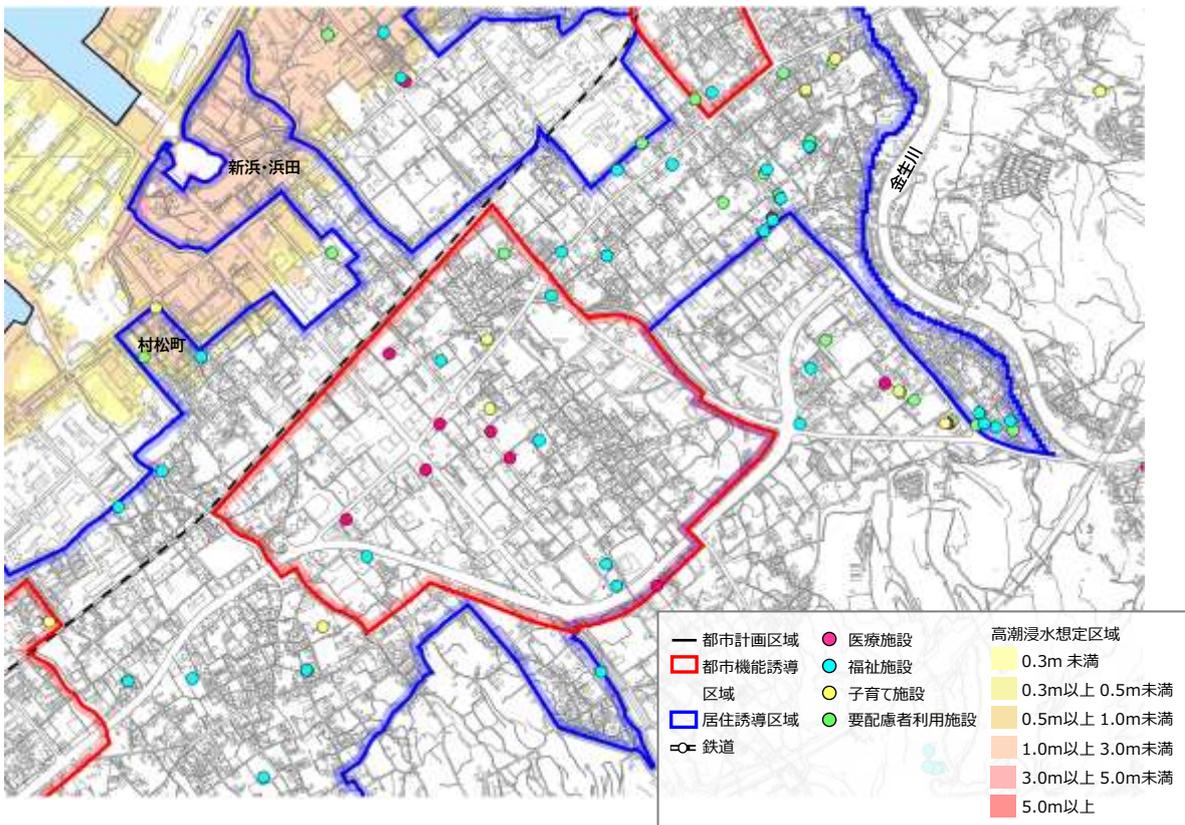
- 海岸部の大部分において、高潮の影響が想定されていますが、工業地帯や農用地が大部分を占めています。
- 関川周辺部は、浸水深 3.0～5.0mの区域が広がっていますが、大部分が農用地となっています。なお、浸水深 1.0～3.0mの区域も広がっており、住宅地への影響が想定されます。



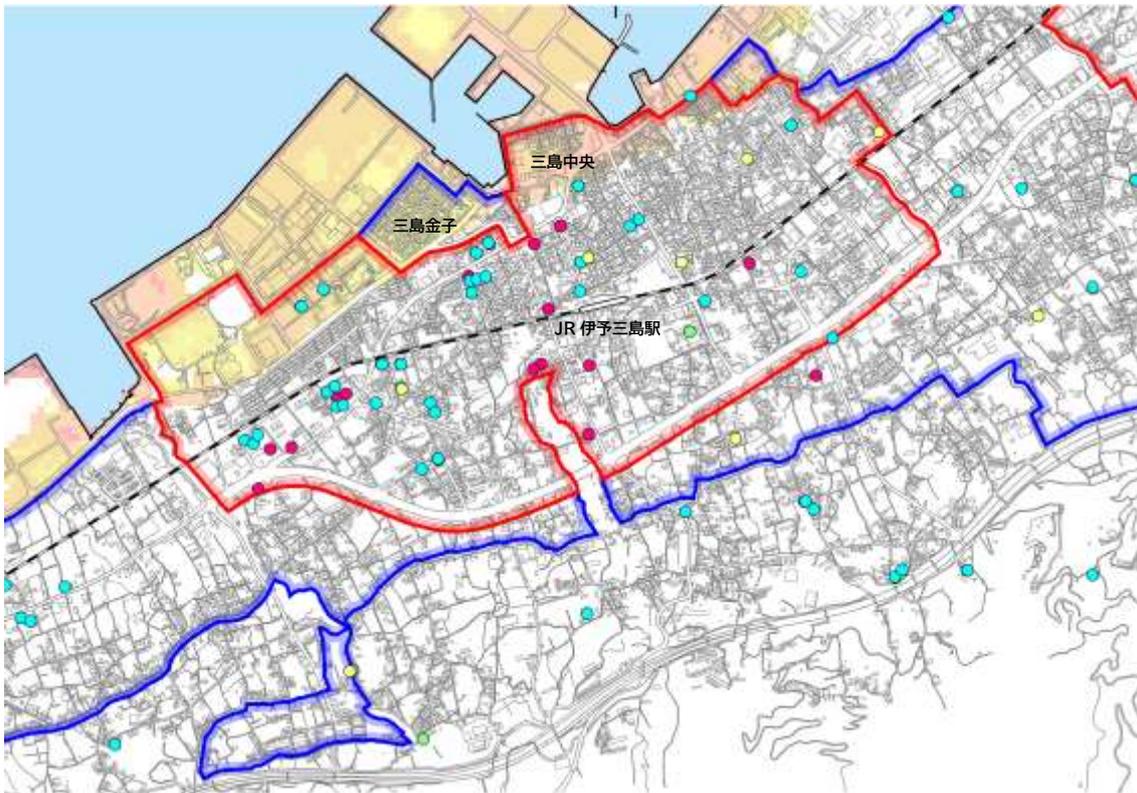
① JR 川之江駅周辺



② 三島川之江 IC 周辺



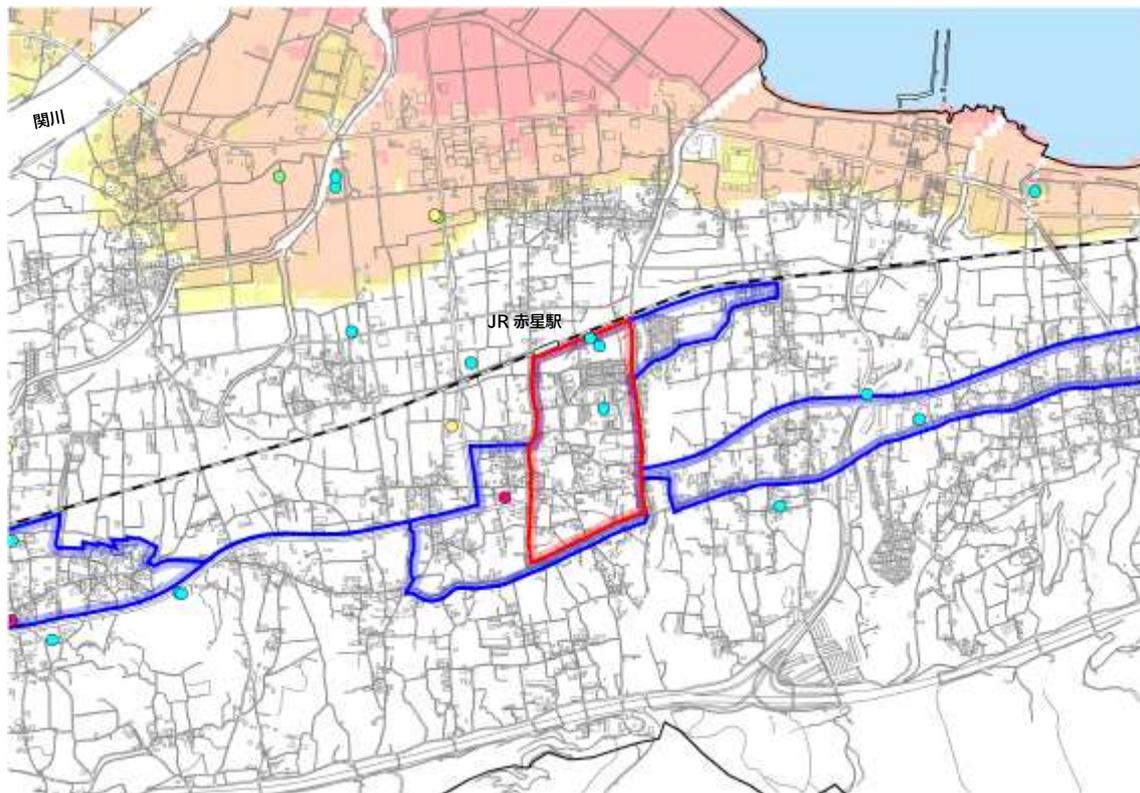
③ JR 伊予三島駅周辺



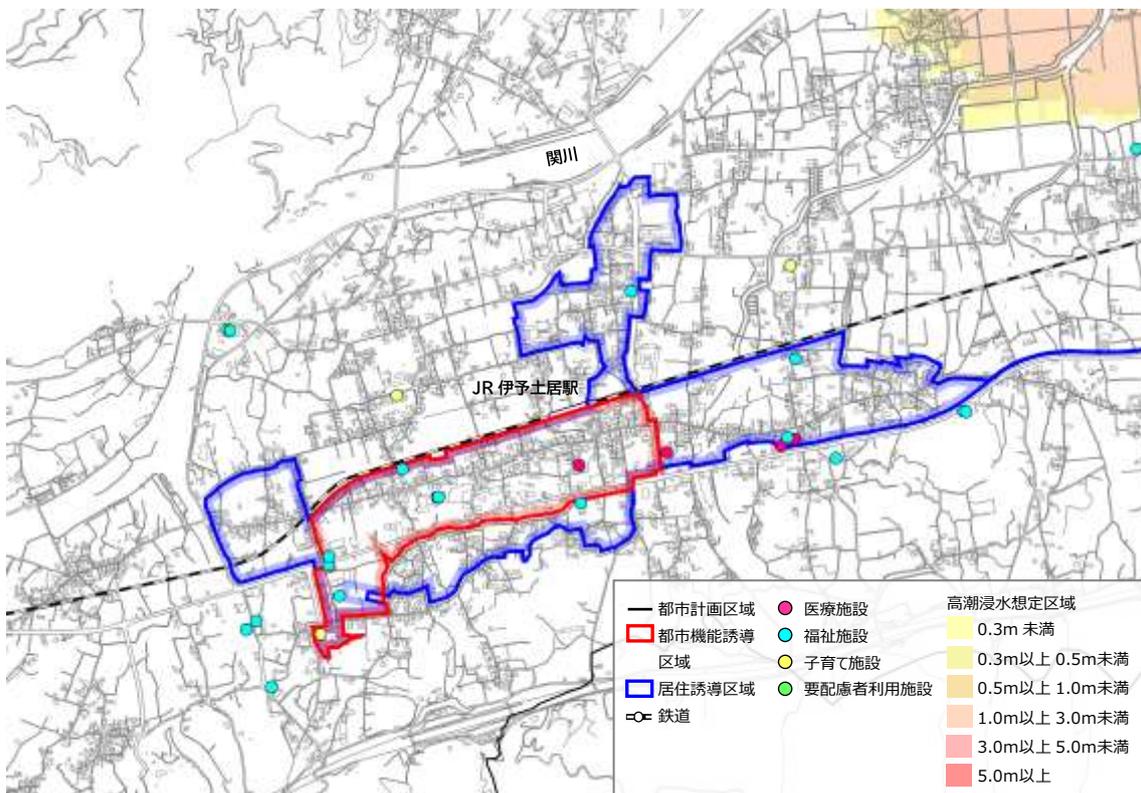
④ JR 伊予寒川駅周辺



⑤ JR 赤星駅周辺



⑥ JR 伊予土居駅周辺



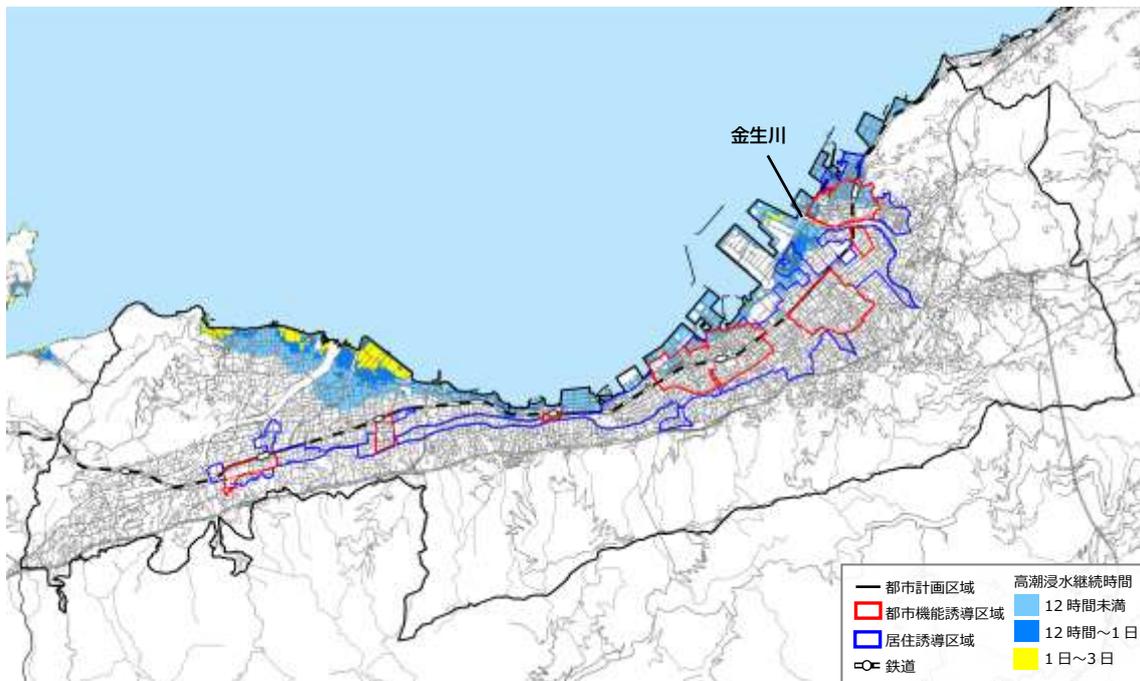
## 高潮浸水継続時間

### ■ 居住誘導区域内

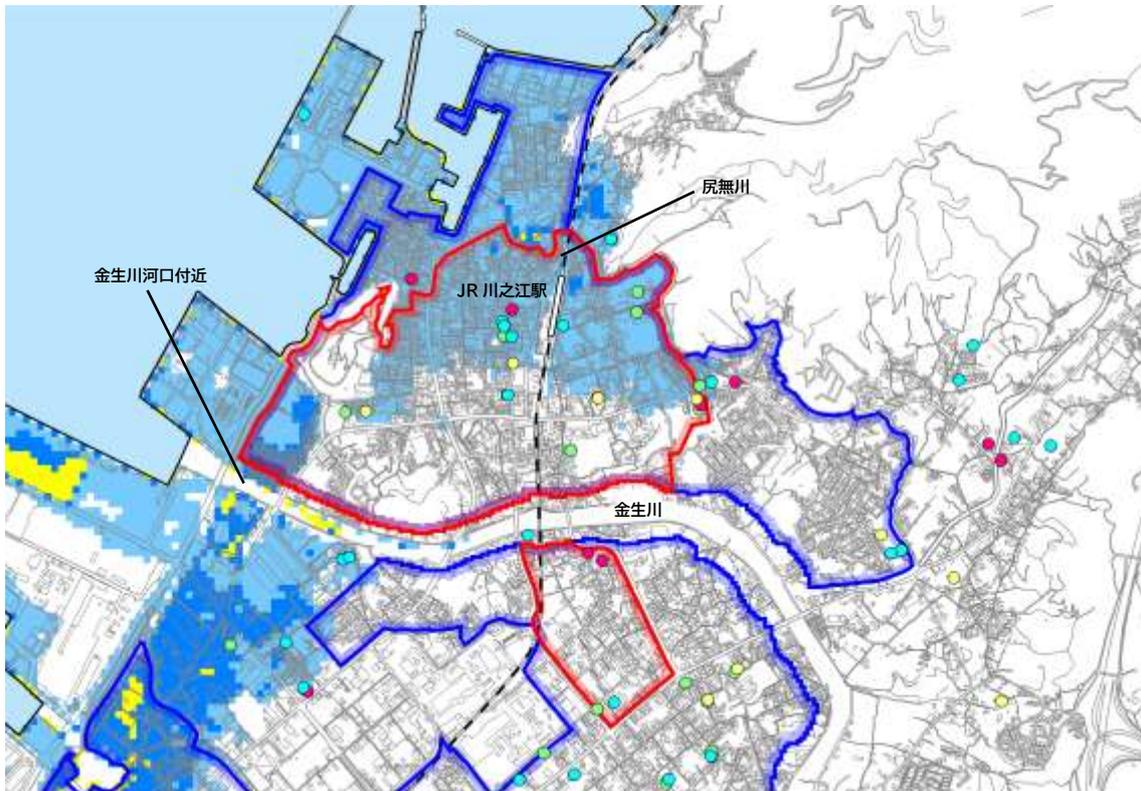
- 新浜・浜田地区は、12～72 時間未満の区域が広がっています。
- JR 川之江駅周辺や金生川河口付近は、主に 12～24 時間（1 日間）未満の区域が広がっています。

### ■ 居住誘導区域外

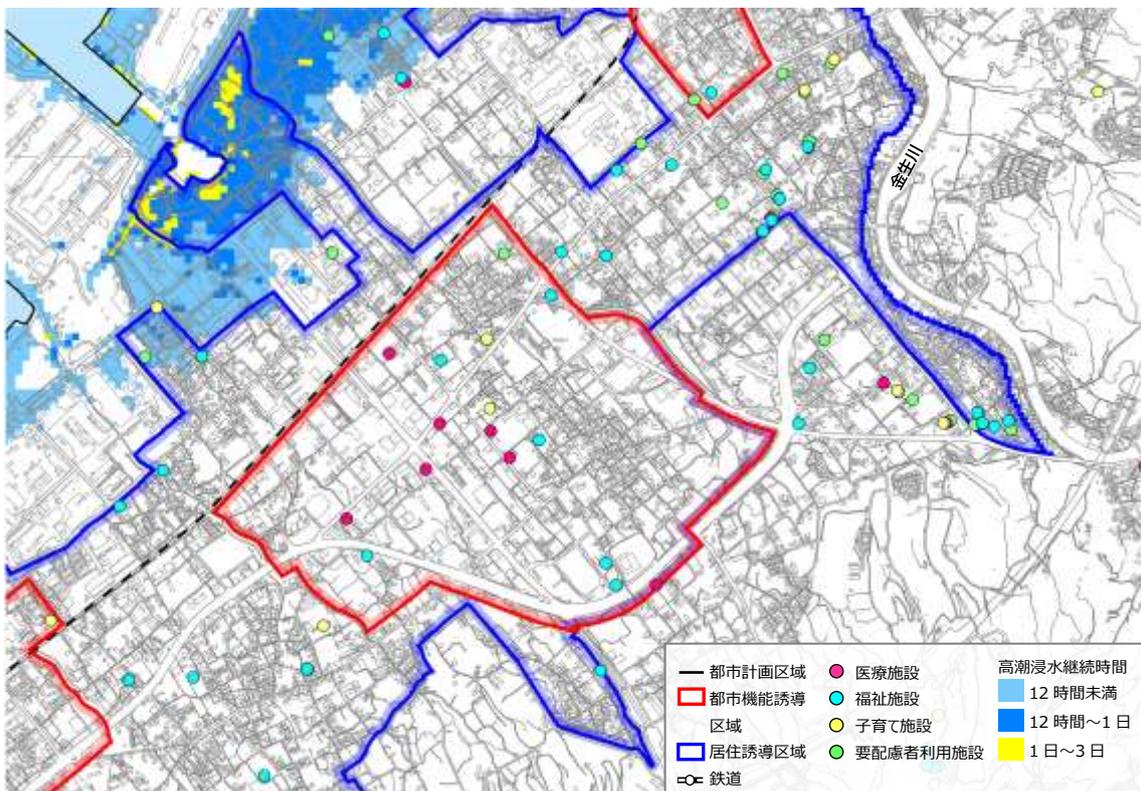
- 海岸部の大部分において、高潮の影響が想定されていますが、工業地帯や農用地が大部分を占めています。
- 関川周辺部は、12～72 時間未満の区域が広がっていますが、主に農用地が大部分を占めています。



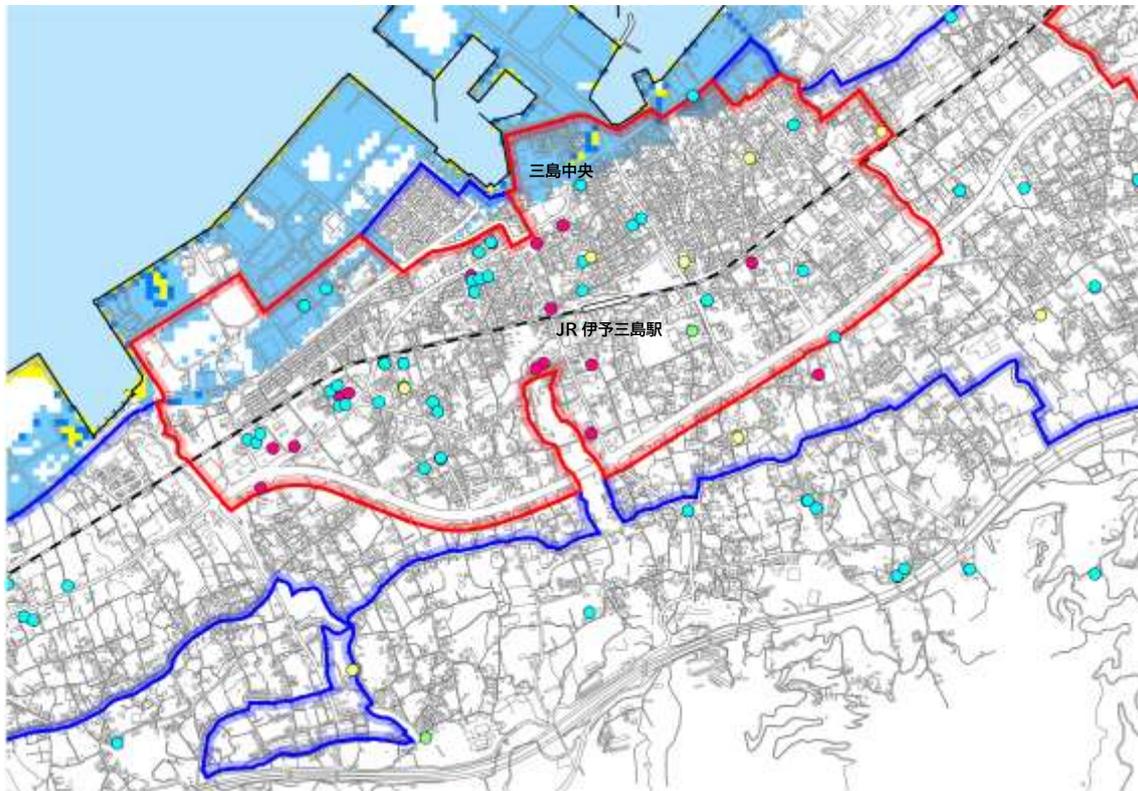
① JR 川之江駅周辺



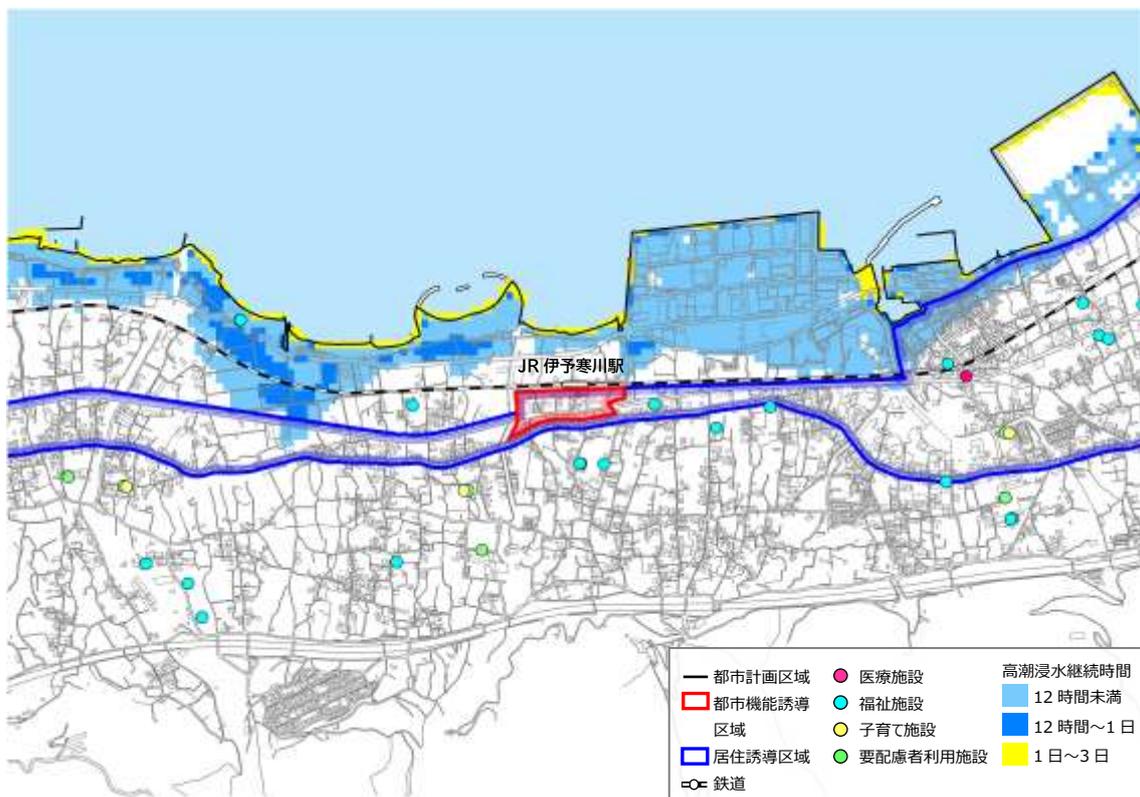
② 三島川之江 IC 周辺



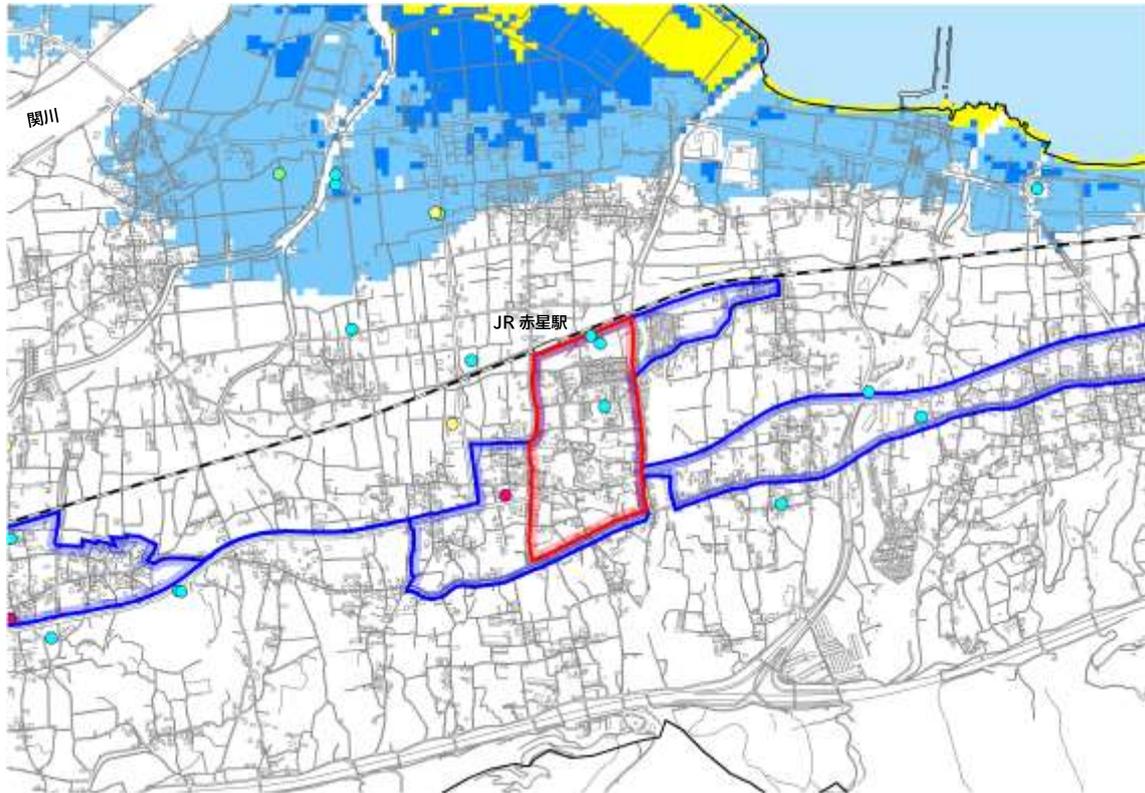
③ JR 伊予三島駅周辺



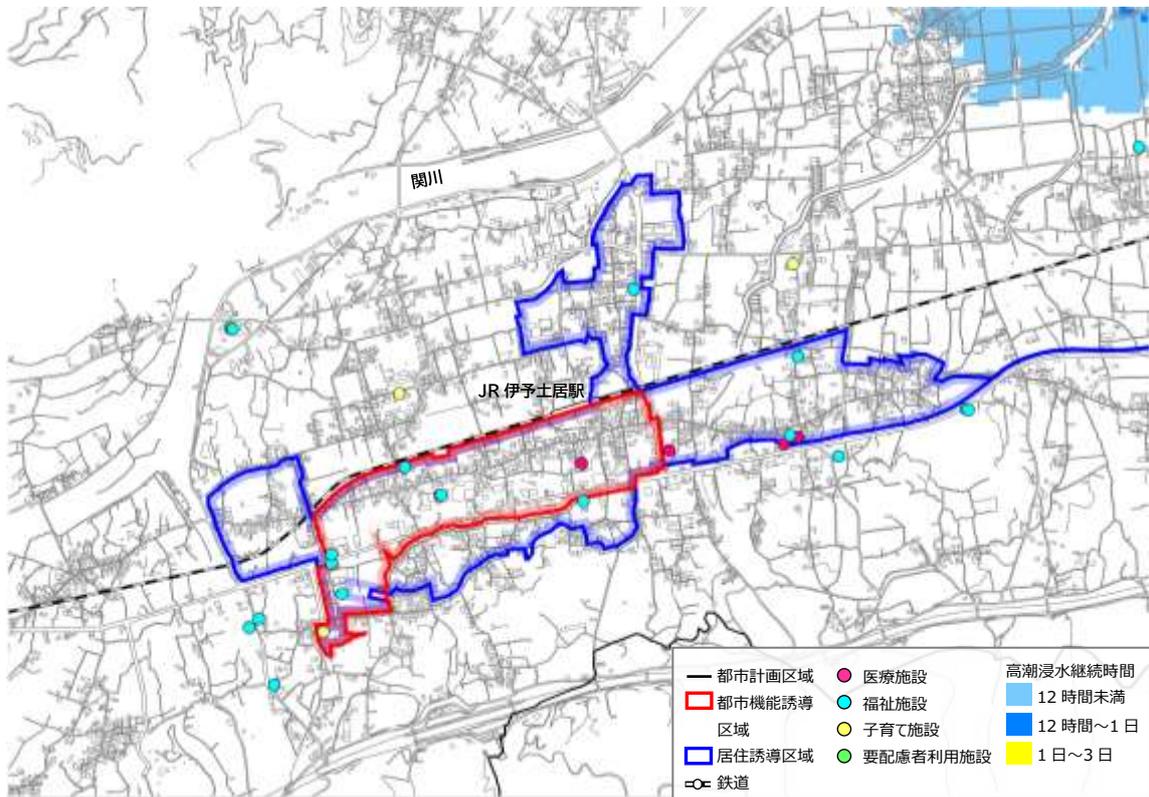
④ JR 伊予寒川駅周辺



⑤ JR 赤星駅周辺



⑥ JR 伊予土居駅周辺



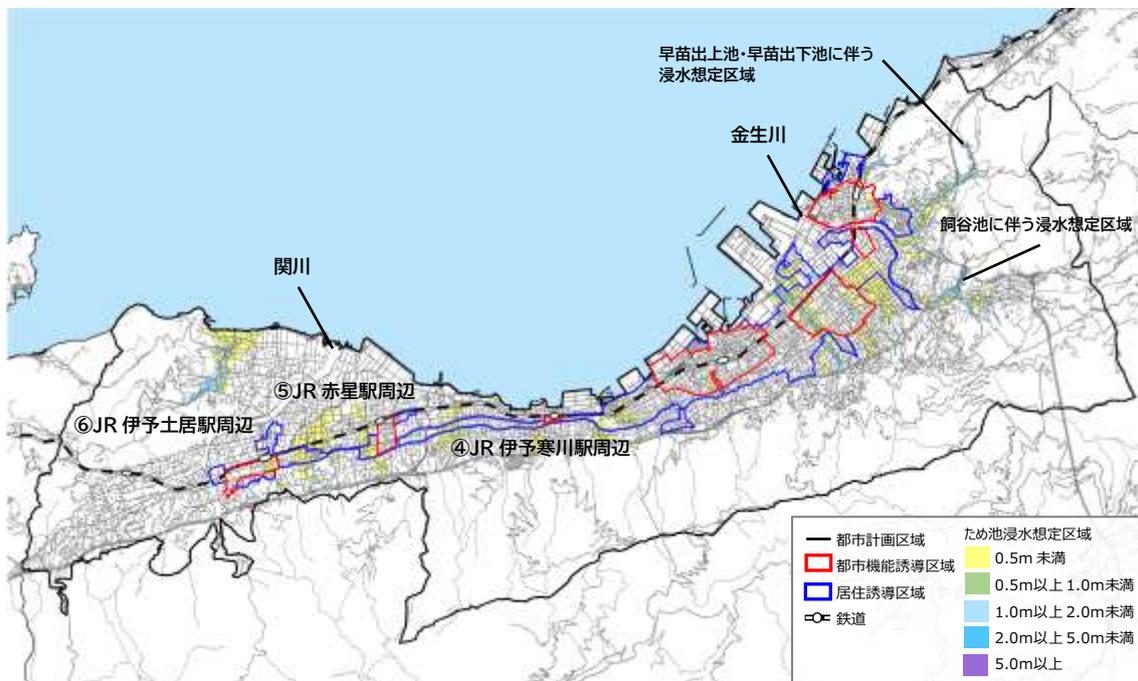
## ため池浸水想定区域

### ■ 居住誘導区域内

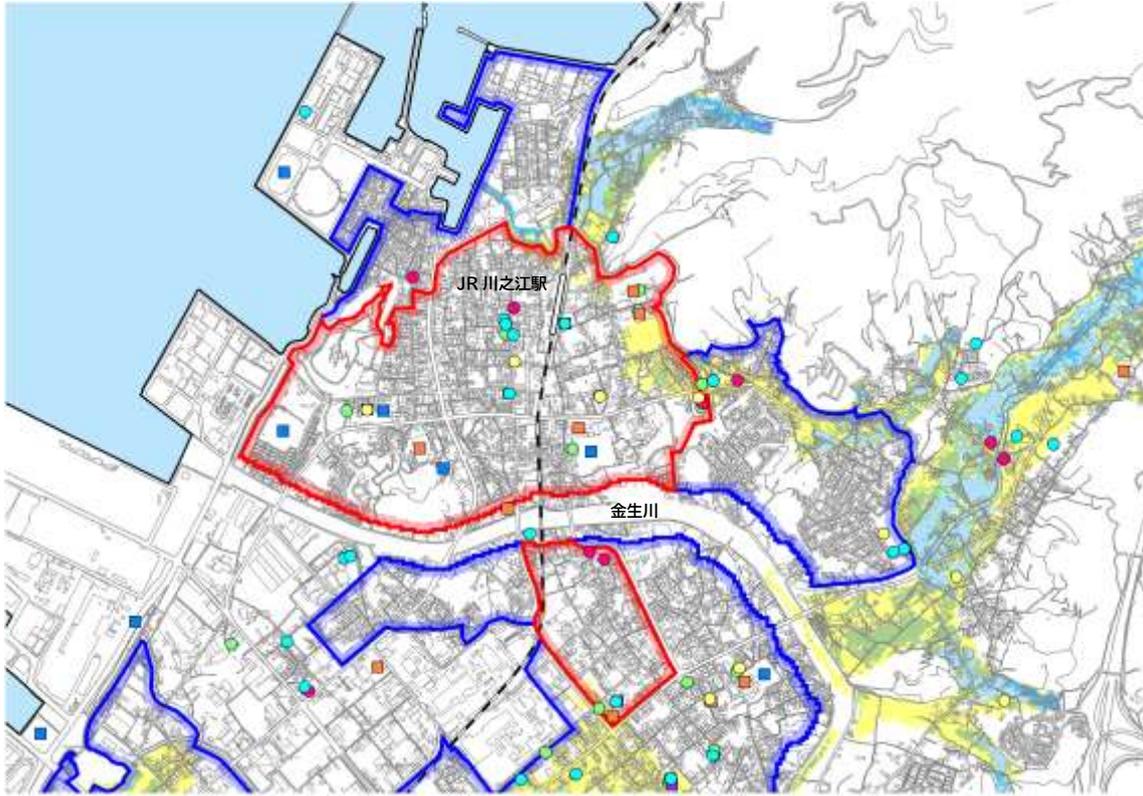
- 淵ヶ本池・藤谷池・稚児池が決壊した場合、川茂川沿いでは、浸水深 2.0～5.0mの区域が広がっています。
- その他、各地域のため池が決壊に伴い、浸水深 2.0mの区域が広がっています。

### ■ 居住誘導区域外

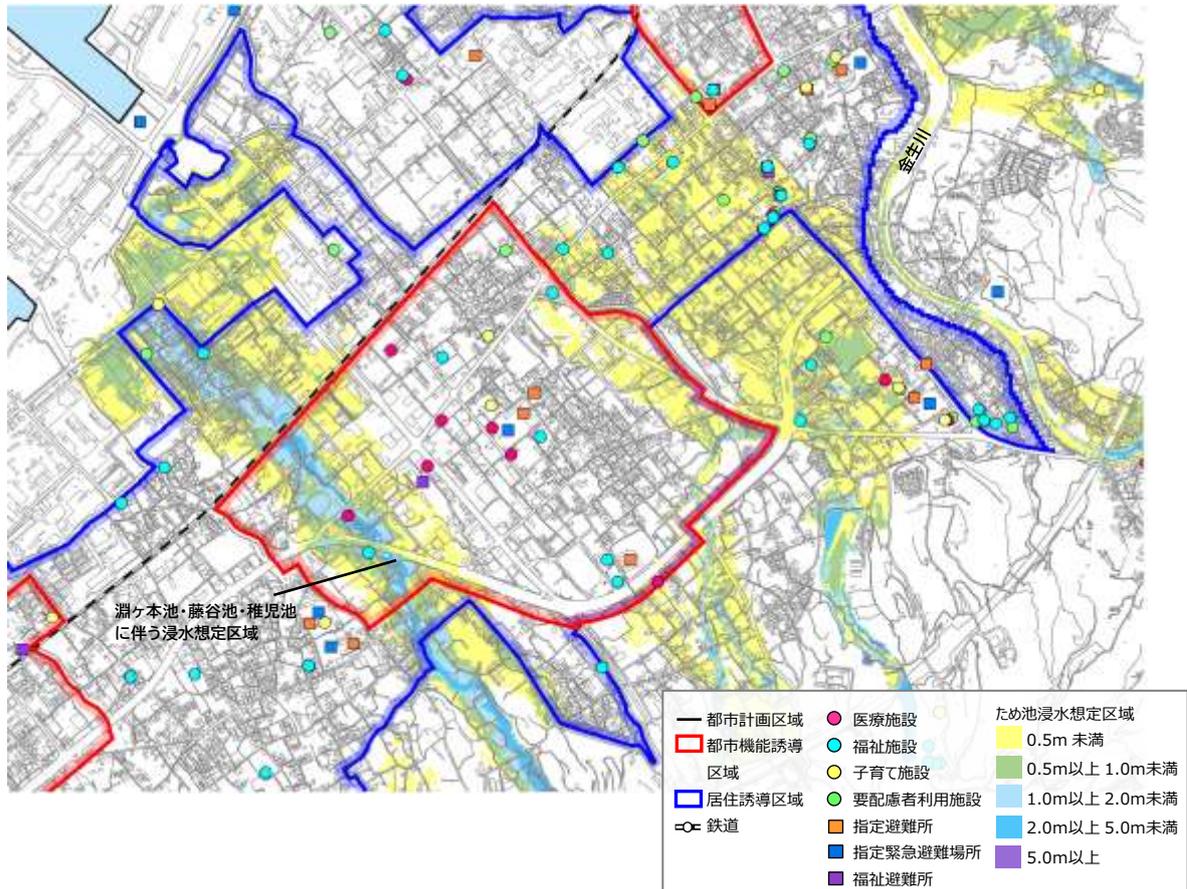
- 飼谷池・早苗出上池・早苗出下池など浸水深 5.0m以上の浸水が想定されている区域もみられます。



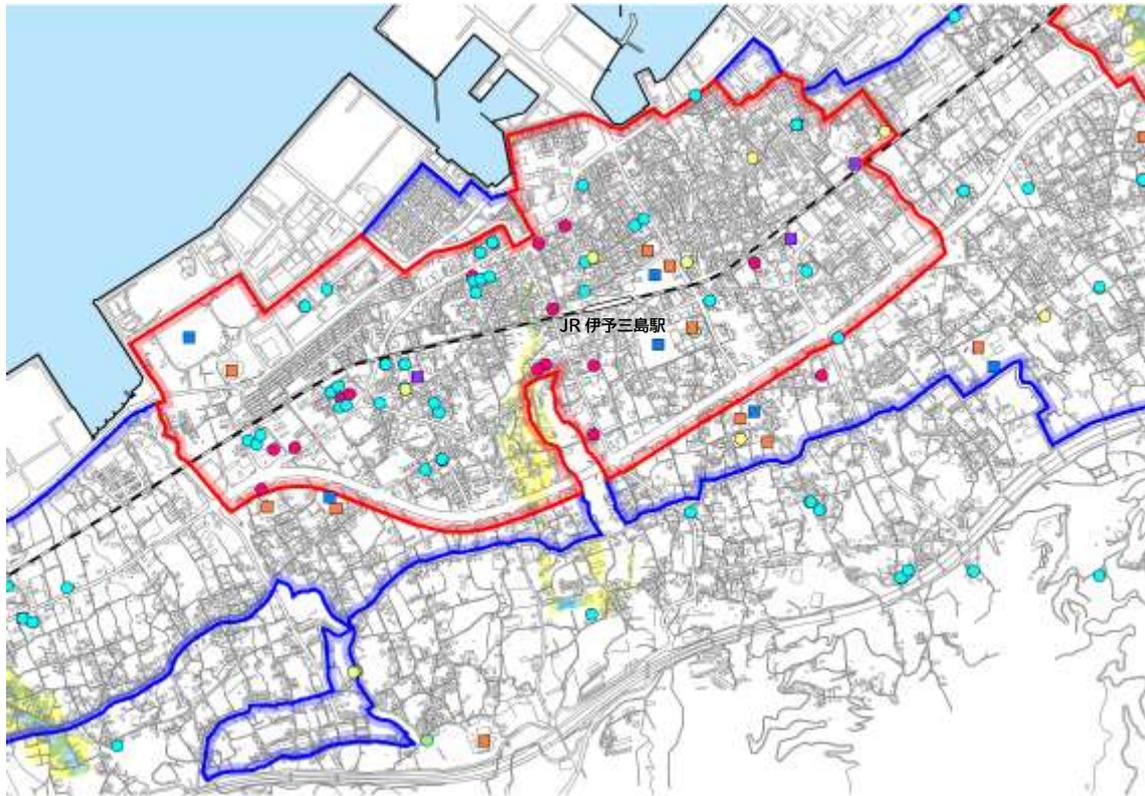
① JR 川之江駅周辺



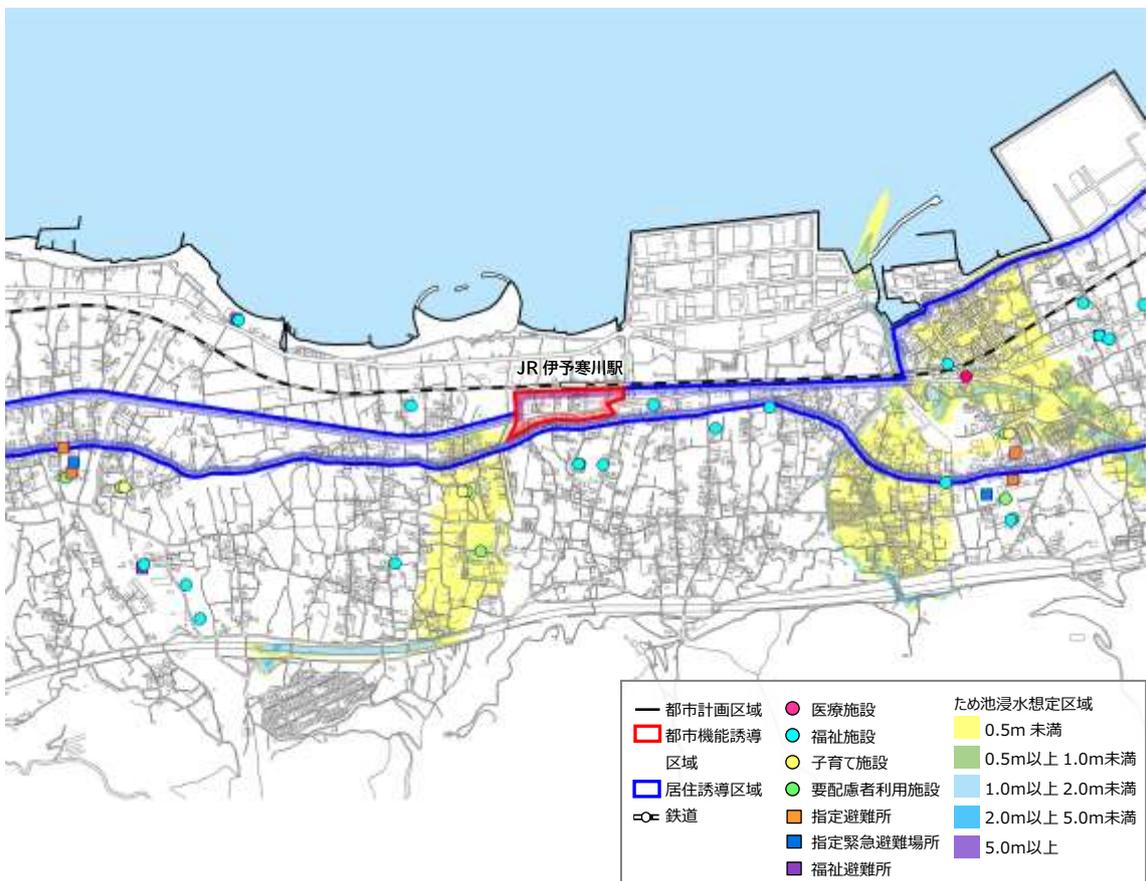
② 三島川之江 IC 周辺



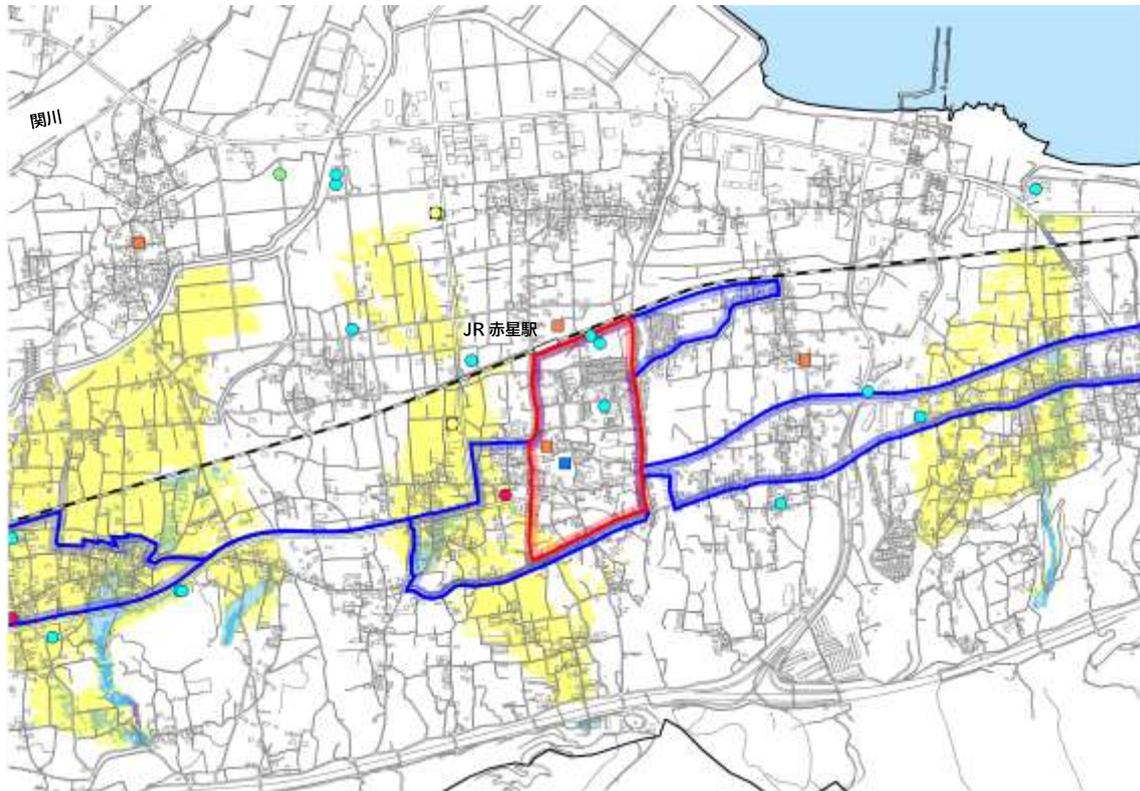
③ JR 伊予三島駅周辺



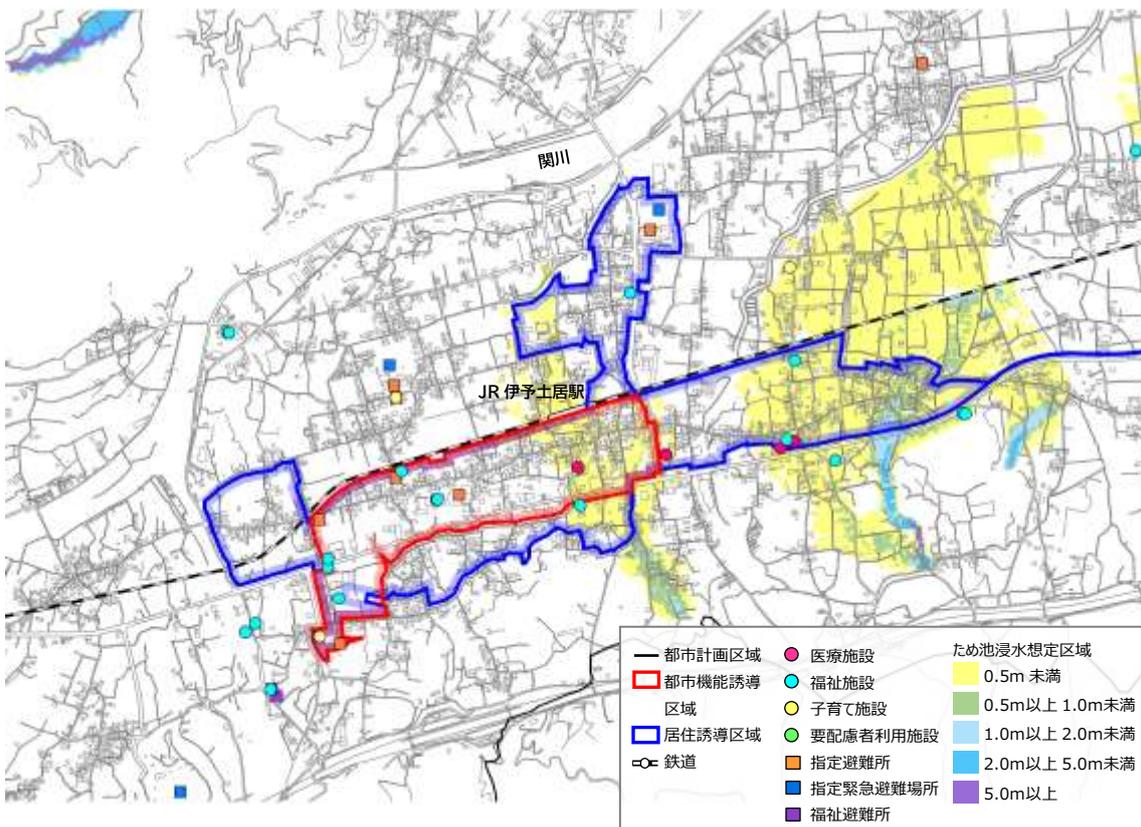
④ JR 伊予寒川駅周辺



⑤ JR 赤星駅周辺



⑥ JR 伊予土居駅周辺



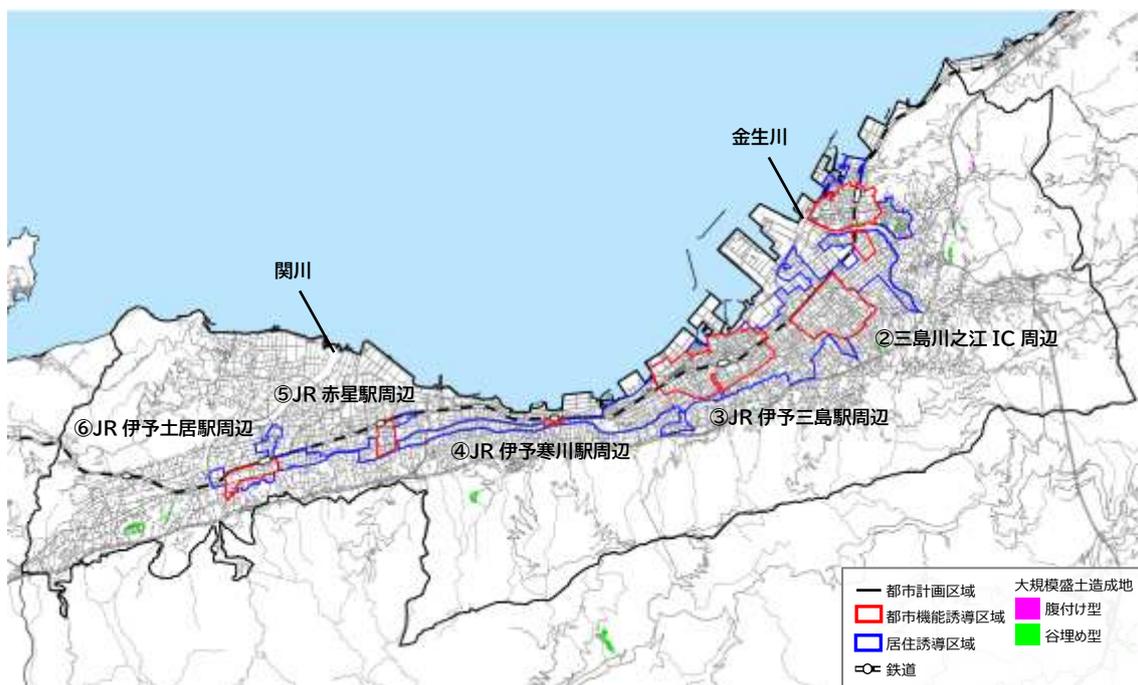
## 大規模盛土造成地

### ■ 居住誘導区域内

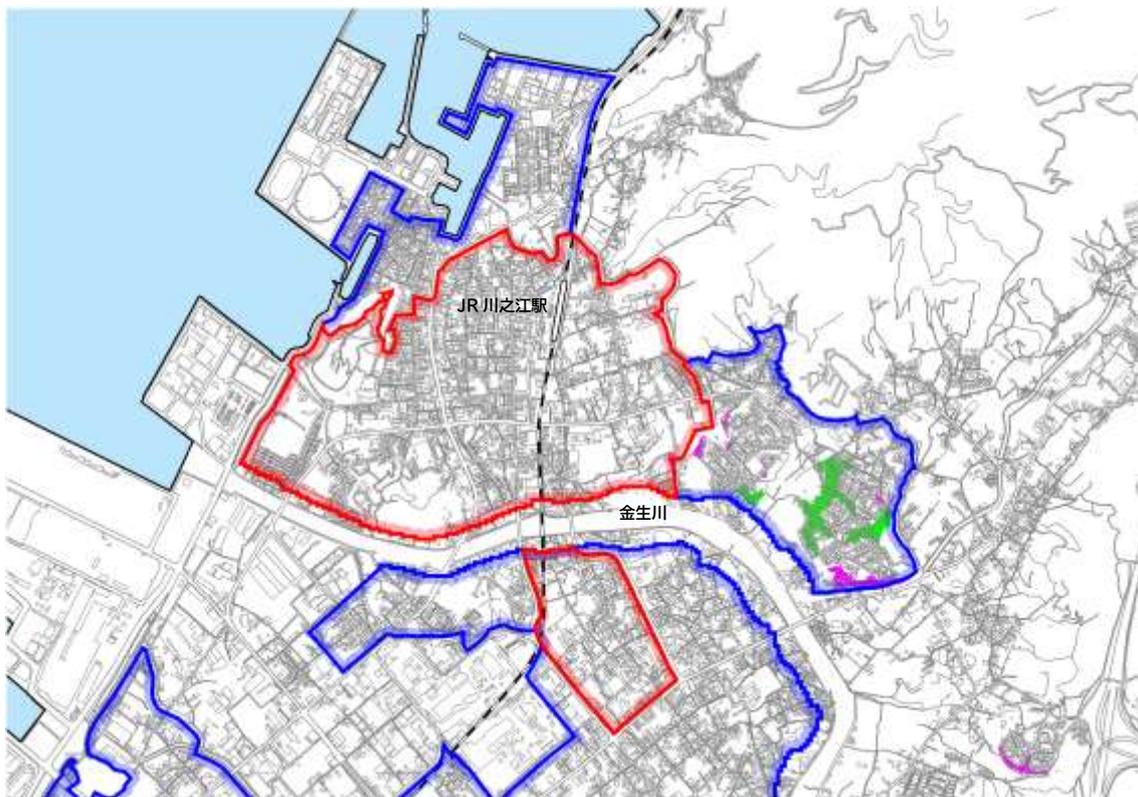
○宝洞山地区や天山津地区において、谷埋め型による造成地が3箇所、腹付け型による造成地が8箇所あります。

### ■ 居住誘導区域外

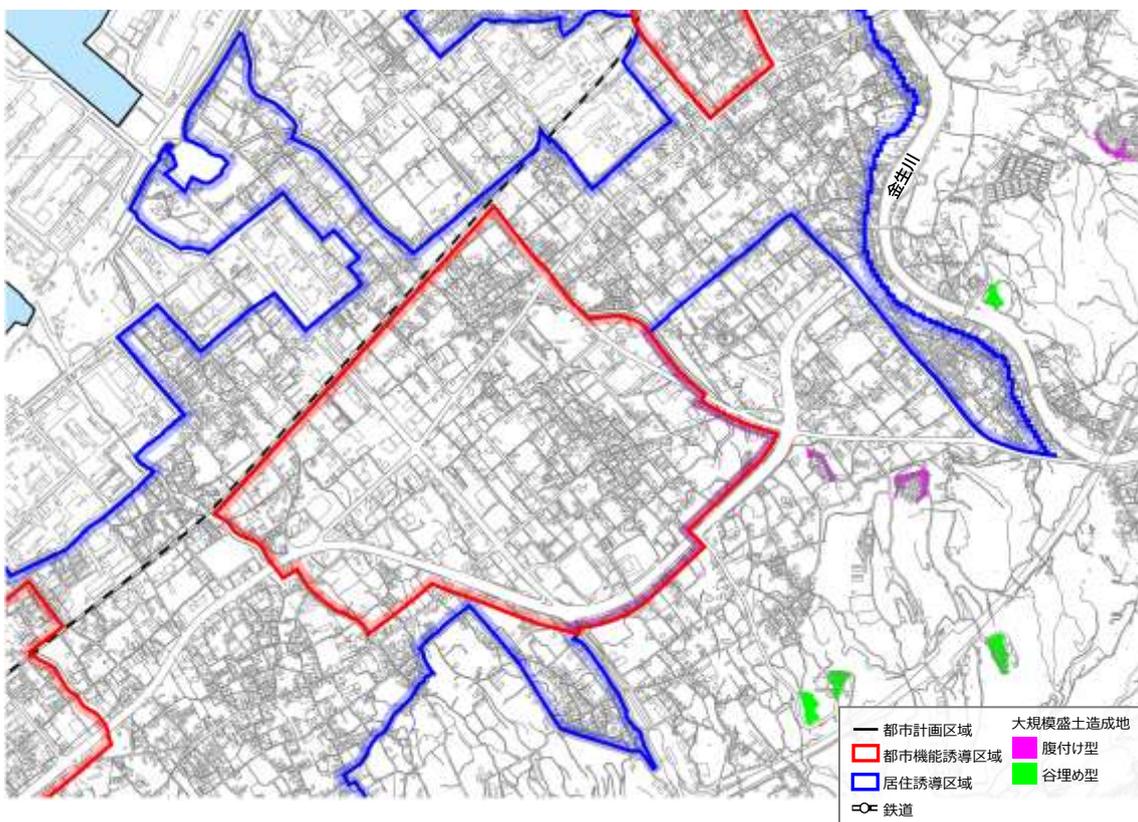
○主に松山自動車道沿いの企業や住宅団地等が造成地となっています。



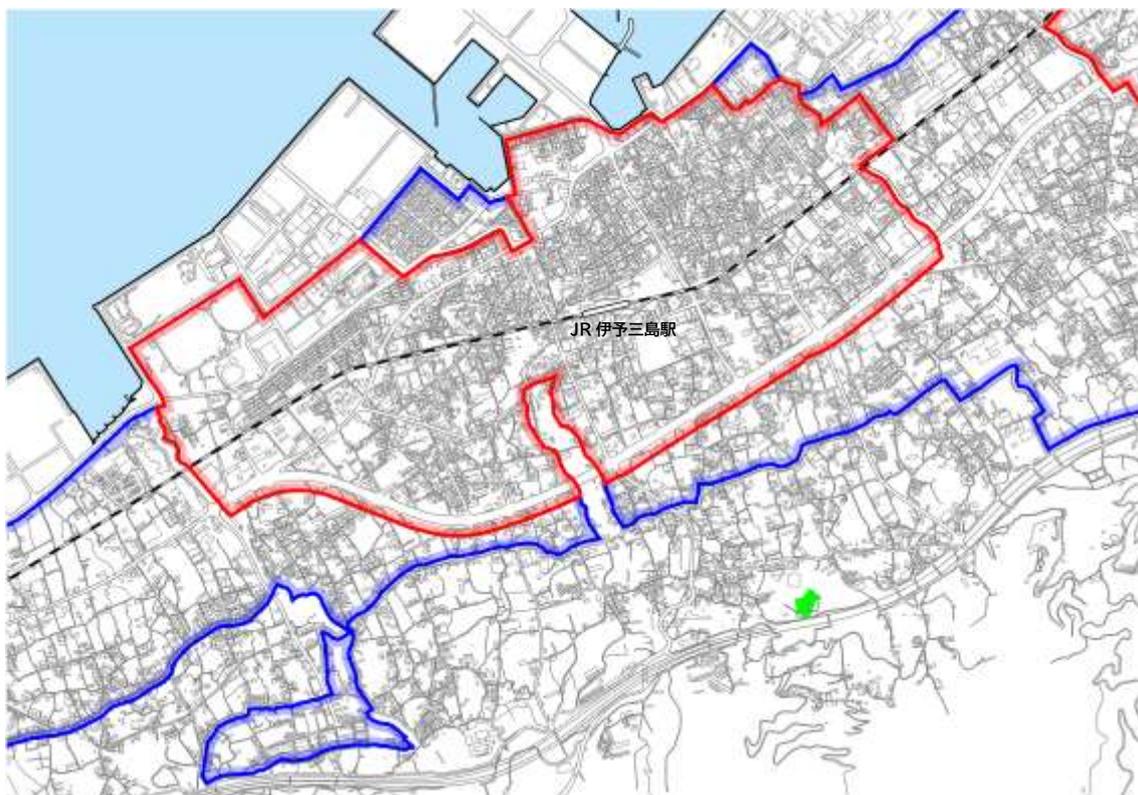
① JR 川之江駅周辺



② 三島川之江 IC 周辺



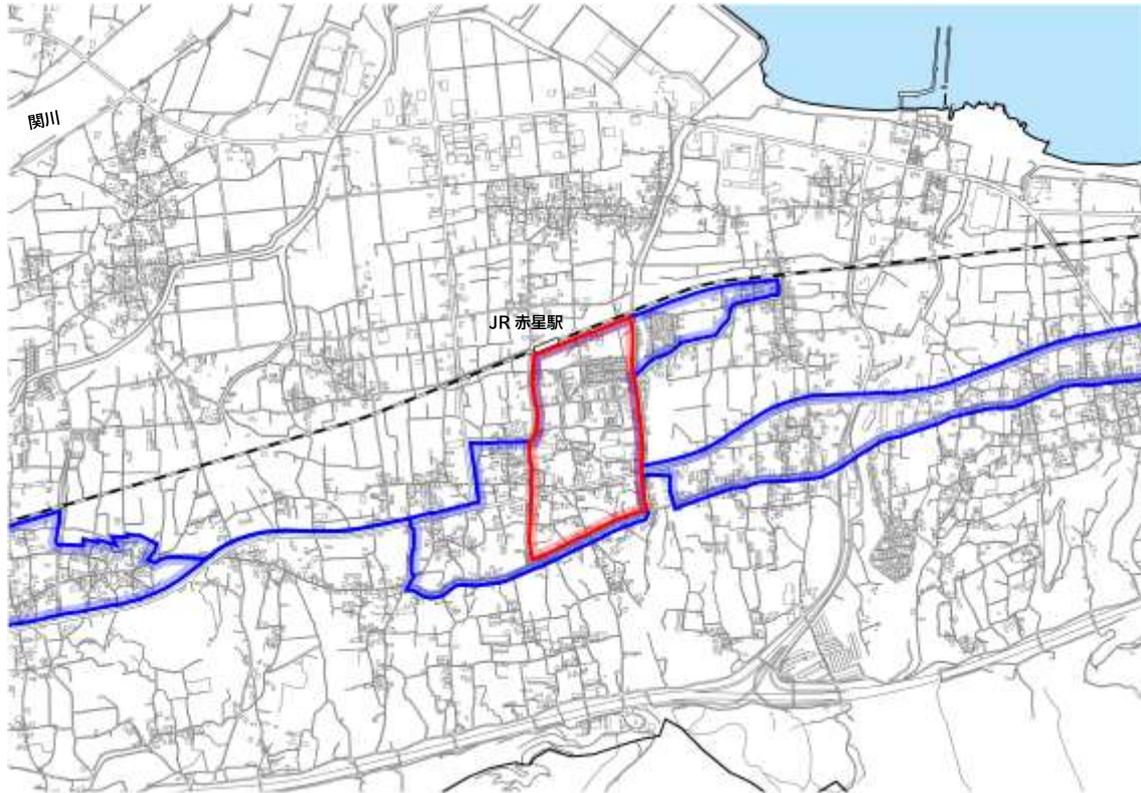
③ JR 伊予三島駅周辺



④ JR 伊予寒川駅周辺



⑤ JR 赤星駅周辺



⑥ JR 伊予土居駅周辺

